

R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
B-001	表紙・図面リスト	B-021	防水庫詳細図 2	S-001	基礎伏図、基礎・雑配筋図	E-01	電気工事 特記仕様書
B-002	特記仕様書 1	B-022	展開図	S-002	基礎柱リスト、柱脚詳細図	E-02	電気工事 配置図
B-003	特記仕様書 2	B-023	1・2階天井伏図	S-003	1・2階柱伏図、鉄骨部材リスト	E-03	電灯設備 平面図
B-004	特記仕様書 3	B-024	建具配置図、建具表	S-004	2階梁伏図、小屋伏図、その他梁伏図	E-04	コンセント設備 動力設備 平面図
B-005	特記仕様書 4	B-025	走行クレーン詳細図	S-005	軸組図 1	E-05	防災設備 平面図
B-006	特記仕様書 5	B-026	外構現況図・撤去図、外構平面図	S-006	軸組図 2、階段架構図		
B-007	特記仕様書 6	B-027	外構詳細図	S-007	鉄骨架構図 1		
B-008	全体配置図、付近見取図			S-008	鉄骨架構図 2	W-01	管工事 特記仕様書
B-009	配置図			S-009	鉄骨架構図 3	W-02	管工事 配置図
B-010	仕上表、面積表			S-010	鉄骨架構図 4	W-03	管工事 平面図
B-011	1・2階平面図、屋根伏図			S-011	ジャストベース標準図		
B-012	立面図			S-012	合成スラブデッキプレート標準図		
B-013	矩計図 1			S-013	P柱アンカーボルト標準図	C-01	空調工事 特記仕様書
B-014	矩計図 2			S-014	鉄骨構造基準図7-1	C-02	空調工事 平面図
B-015	断面詳細図			S-015	鉄骨構造基準図7-2		
B-016	平面詳細図			S-016	鉄骨構造基準図7-3		
B-017	手摺詳細図			S-017	鉄骨構造基準図7-4		
B-018	部分詳細図 1			S-018	鉄骨構造基準図7-5		
B-019	部分詳細図 2			S-019	鉄骨構造基準図7-6		
B-020	防水庫詳細図 1			S-020	鉄骨構造基準図7-7		

課長	副課長	課長補佐	係長	係長	課員	担当

徳島県土整備部営繕課	工事名	図面番号	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	B-001	
	図面名	縮尺	
	表紙・図面リスト		

6.金属成形板張り

Table with columns: 種別, 材質, 防水紙, 板幅, 厚さ, 形状, 表面処理, 取付下地. Row: 高波サイディング張り, 塗装 消磁5%アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板, 透湿防水シート, 125~140mm程度, 0.5mm, 図示による, 8'以下樹脂塗装, 鉄骨(ステンレス止め)

7.手すり及びグラップ

Table with columns: 材質, 表面仕上げ, 直径, 取付箇所, 備考. Rows: スチール H245 図面による, スチール SOP塗り 図面による, 屋外手すり, 屋内手すり, 内部充填

手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。

1.1章 左官工事

1.一般事項

下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。コンクリート等面の下地及び骨塗り層は、清掃のうえ適度の水澀しを行って、次の層の塗り方にかかるとする。

2.モルタル塗り

下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。

Table with columns: 施工箇所, 仕上げの種類, 目地, 防水の有無, 備考. Rows: 屋内階段床, 屋外階段部床, 窓台, 防水扉ビット部. Values: 金こて押え, 無, 有, 有, 内部充填

防水剤の製造所：評価名簿による。目地の位置及び寸法は図示による。

防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。総塗り厚さが25mm以上となる場合は、はく落防止法とすること。

3.床コンクリート

直均し仕上げ

施工箇所（1・2階床、根巻コンクリート・スチール構造物上）

4.仕上塗材仕上げ

仕上塗材は、JIS A 8909（建築用仕上塗材）による。なお、下塗材、主材及び仕上塗材は、同一製造所の製品とする。

Table with columns: 種類, 呼び名, 上塗材, 仕上げの形状, 工法, 下地仕上. Row: 撥水材, コット打放し保護, 水系アクリル樹脂, コット打放し, 吹付け, コンクリート打放し

建物内部に使用するUV樹脂等（UV樹脂、UV樹脂、UV樹脂、UV樹脂 又はMM7F7D'系防腐剤）を用いた塗料のMM7F7D'の発数量は（F 必要量等の確認は、（槽仕表15.5.4，単位面積当たりの使用量）による。

7.ガラス

板ガラス

Table with columns: 種類, 品名, 厚さ, 備考. Row: 納入磨き板ガラス, 覆層ガラス, JIS R 3204, JIS R 3209, フロート5.0mm+空気層6mm+納入り透明6.8mm, 6.8mm

外部に面する納入り板ガラス等の下辺小口及び縦小口下端に防錆処置を行うこと。

ガラスのとめ材の種類

Table with columns: 建具の種類, 材質, ガラス溝の大きさ. Row: アルミニウム製, SR-1両面, 槽仕表16.14.1

防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

8.ガラス用フィルム

Table with columns: 名称, 種類, 張り面, 備考. Row: 紫外線カットフィルム, 2種, 内張り, 型ガラス(スリガラス)調フィルム

品質はJIS A 5759による。

1.3章 塗装工事

1.一般事項

防火材料又は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。塗料はUV照射しないもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。UV樹脂等（UV樹脂、UV樹脂、UV樹脂、UV樹脂又はMM7F7D'系防腐剤）を用いた塗料のMM7F7D'の発数量は、F とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2.合成樹脂調合

ペイント塗り (SOP)

Table with columns: 区分, 種別, 素地ごしらせ, 錆止め塗料, 備考. Rows: 鉄面, 亜鉛めっき面. Values: 屋外, 屋内, 槽仕18.4.4 B種, 槽仕18.4.5 B種, 屋外, 屋内, A種, A種, 鉄部, スチール戸枠

3.耐候性塗料(OP)

Table with columns: 区分, 種別, 素地ごしらせ, 備考. Row: 屋外亜鉛めっき面, ステンレス面. Values: 槽仕18.7.3 上塗り等級1級(ふっ素系), 槽仕18.7.3 上塗り等級1級(ふっ素系)に準じる, B種, A種, シャッター3方枠, 防水扉面

1.4章 内装工事

1.せつこうボ、ドその他ボ、ド及び合板張

Table with columns: 材質・規格品, 施工箇所, 工法, 厚さmm, 不燃材等の区分, 小ねじ・釘・接着剤の種類, 下地の種類, 備考. Rows: スレートボード(フレキシブル板), ラワン合板(2種)

合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放数量は、F とする。

ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2.断熱・防露

Table with columns: 種類, 種別, 厚さmm, 工法, 施工箇所, 備考. Rows: グラスウール, グラスウール. Values: JIS 6301 24kg/m2 50mm, JIS 6301 24kg/m2 50mm, 敷き込み, はめ込み, 保管庫 天井, 保管庫 壁

ロックウール、グラスウール、UV樹脂又はUV樹脂を使用した断熱材のMM7F7D'の発数量は、F とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。製造所：評価名簿による。

3.接着剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、UV樹脂等（UV樹脂、UV樹脂、UV樹脂又はMM7F7D'系防腐剤）を用いた接着剤のMM7F7D'の発数量はF とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

1.2章 建具工事

1.一般事項

外部に面する建具は、建築基準法施行令、又は「屋根葺き材、外装材及び屋外に面する構架の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき安全性を確認すること。防火戸の指定は建具表による。建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。防犯建物部品の適用は、建具表による。

2.アルミニウム製建具

Table with columns: 種別, 耐風圧性, 気密性, 水密性, 枠の見込み寸法, 使用箇所, 表面処理. Row: A種, S-4, A-3, W-4, 70, 図面参照, B-1

製作所：評価名簿による。

建具には製作業者名を表示すること。

3.鋼製建具

Table with columns: 耐風圧性, 気密性, 水密性, 遮音性, 面内変形耐性, 使用箇所, 表面処理, 備考. Row: 図面参照, 溶融亜鉛めっき鋼板, 屋内建具枠

鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、めっき付着量は212又はF12を満足するものとする。製作所：評価名簿による。

4.木製建具

建具材の含水率の種類は、（A・B・C）種とする。見込み寸法、表面板の合板の品質については、MM7F7D'の発数量は、F とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F のフラッシュを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。その他は、槽仕16.6.2(b)(1)(・)(・)による。建物内部の木製建具に使用するMM7F7D'水溶液を用いた塗作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のMM7F7D'の発数量は、F とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、MM7F7D'の発数量が、F のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

5.建具金物

金物の種類及び見え掛り部の材質は、槽仕表16.7.1による。既成又はこれに準ずる建具金物は、建具製作所の仕様による。すり玉及びびード、押板類、ペネツ等の取付け位置は図示による。

6.軽量シャッター

Table with columns: 設置場所, セクション材料, 耐風圧強度, 開閉装置, 安全装置, スラット仕様, シャッターケース、レール、座板、まぐさは図面による.

製作所：評価名簿による。

1.5章 ユニット及び
その他の工事

- 1.階段滑り止め
(屋内) 材種 (SUS304)、形状 (ゴムタイヤ有り)、エンド無し、寸法 (35)
取付け方法は (アンカーピン+接着工法) とする。
- 2.階段滑り止め
(屋外) 材種 (SUS304)、形状 (ゴムタイヤ無し)、寸法 (35)
取付け方法は (アンカーピン+接着工法) とする。
- 3.アルミ庇 強度に関する資料を監督員に提出すること。取付ピッチ、支持材ピッチは採用メーカーの規定・構造計算による。
- 4.バリカー 図面による
- 5.スチール柵 図面による
- 6.目地板 選着質板製
- 7.防水層 スライド式防水層 (正水圧)
材質 ステンレス製 (錆止め塗装のうえDP塗り)
防水高さ NGL+1150
明細は防水層詳細図参照
- 8.走行クレーン 走行クレーン
定格荷重 2,800/t
スパン 10.78m
明細は走行クレーン詳細図参照

1.6章 排水工事

- 1.排水管 排水管材料
- | 材種 | 管の種類 | 呼び径 | 備考 |
|------------|------|-----|----|
| 硬質ポリ塩化ビニル管 | VP | 100 | |

- 2.側溝、排水溝等 排水マスの種類：図示による。
グレーチング

材質	用途	適用荷重	×(バ)・ゼ)・ダ	垂鉛めつき付着量	上面形状	備考
スチール	溝用	T20	35.3程度	450g/m ² 以上	ブレーン	ボルト固定
スチール	柵用	T14	30.0程度	450g/m ² 以上	ブレーン	ボルト固定
スチール	柵用	T6	30.0程度	450g/m ² 以上	ブレーン	ボルト固定

・製造所：評価名簿による
砂の粒度試験は、(行う ・ [行わない])

- 3.街きよ、縁石、側溝 地盤材料：再生クラッシャーラン 厚さ：100
コンクリート設計基準等：18N/mm²、スランプ=15
街きよ、縁石及び側溝

名称	形状	寸法	備考
境界ブロック	地先	150 x 120	

- 4.その他 地盤材料の種類：再生クラッシャーラン 厚さ：図示による。
コンクリート：設計基準強度 (18N/mm²)、スランプ (15)
埋め戻し材料：(A・[B])・C・D)種とする。
排水工事の仕様は、図示以外は、建築工事標準詳細図による。

1.7章 舗装工事

- 1.路床 盛土材料 B種
路床土の支持力比 (C B R) 試験は (行う (乱した土・乱さない土) [行わない])
路床締固め度試験は (行う [行わない])。
砂の粒度試験は (行う [行わない])。
現場 C B R 試験を (行う [行わない])。

- 2.路盤 路盤材料は再生クラッシャーランとし、厚さは図示による。
締固め試験は (行う [行わない])。
路盤の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。

- 3.アスファルト舗装
- | 舗装の種類 | 部位 | 舗装の厚さ (mm) |
|--------|-----|------------|
| アスファルト | 補修部 | 50 |

再生加熱アスファルト混合物を (使用する)。

種 別	表層、基層の別	種類	備考
再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度アスファルト混合物	

シ・ルコトは (行う [行わない])。
アスファルト混合物の抽出試験は (行う [行わない])。
切取り試験は (行う [行わない])。
表層の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。
地域は ([一般地域]・寒冷地域) とする。
舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。

徳島県土整備部管轄課

工事名 R 1 宮橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

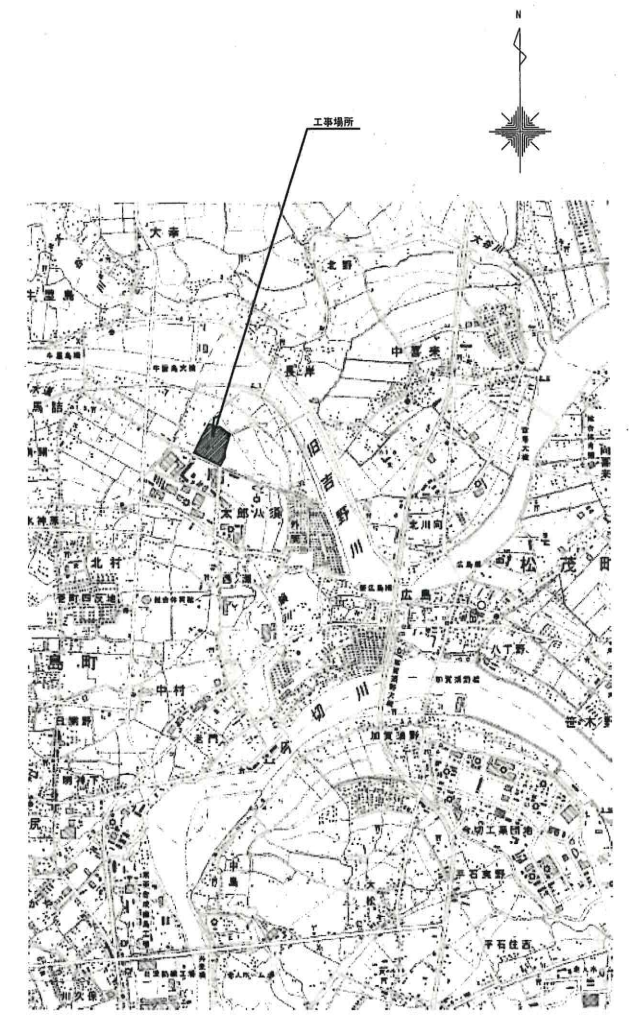
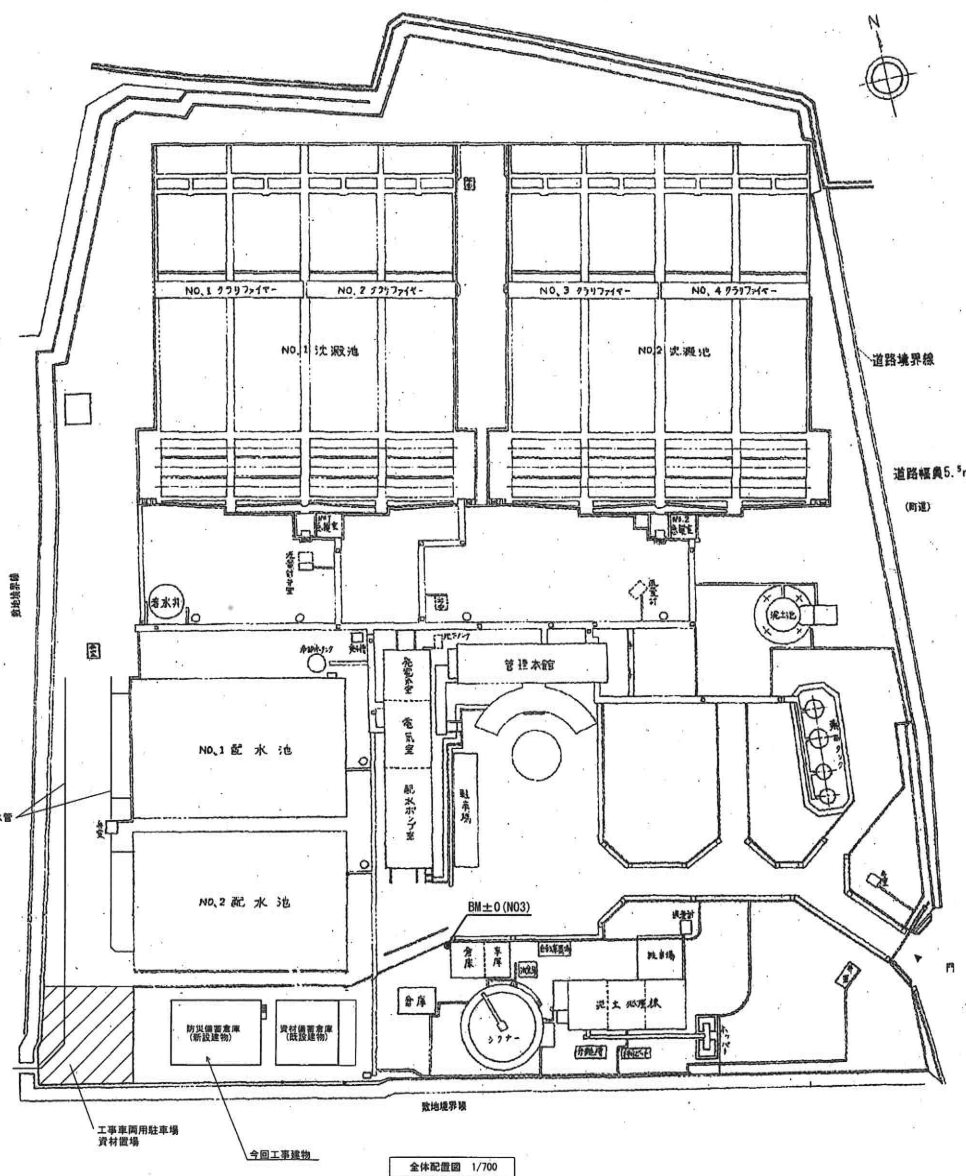
図面番号 B-007

株式会社 川建設

1級建築士登録
第126265号
川建社一部

図面名 特記仕様書 6

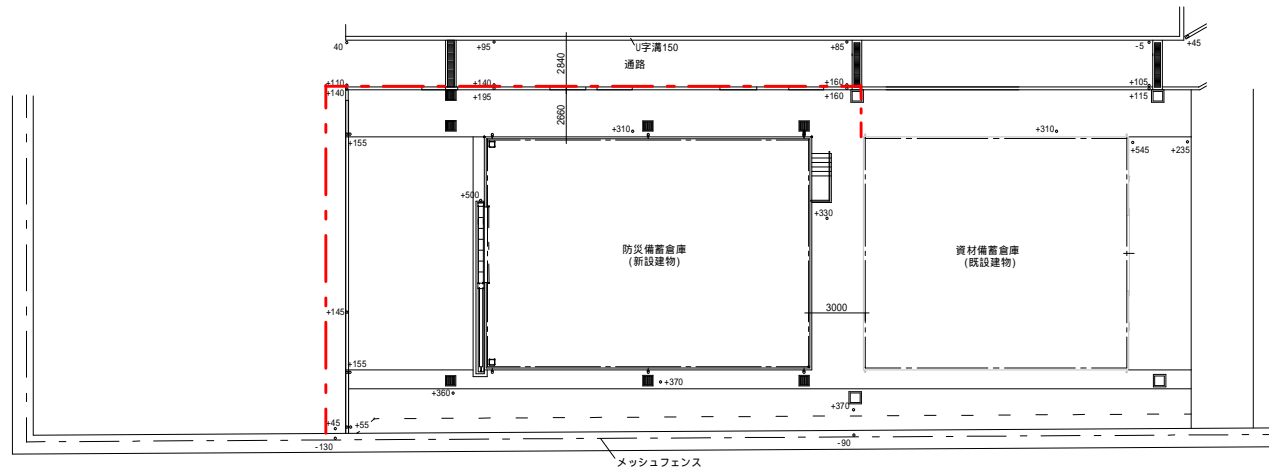
縮尺



付近見取図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平30情複、第573号) この地図を複製して使用する場合は、国土地理院の長の承認を得る必要があります。」

徳島県土木整備部管轄	工事名 R1 盛積 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事 図面名 全体配置図、付近見取図	図面番号 B-008 縮尺 1/700	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川環社一部
------------	---	------------------------------	--

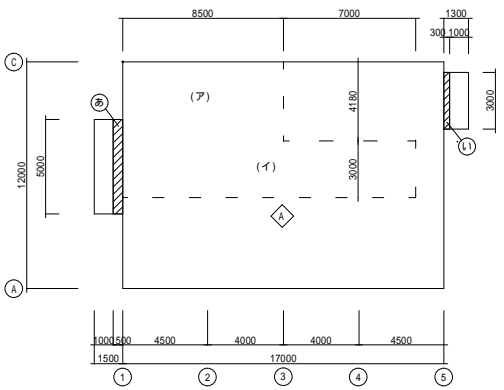


	徳島県土整備部管轄課	工事名 R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-009	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川藤社 川藤社 川藤社 川藤社
		図面名 配置図	縮尺 1/200	

内部仕上表

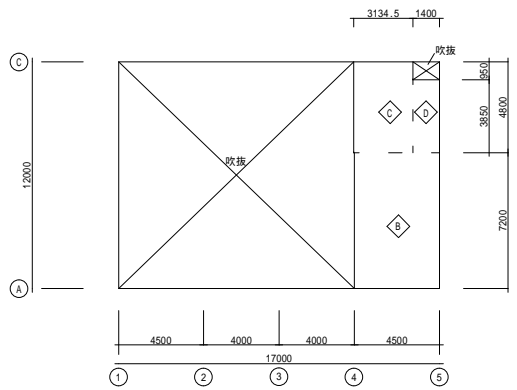
階	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
1	車庫・倉庫	コンクリートこて押入(目地カッター切り)	コンクリート打放し(塗装合板型特)	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4) デッキプレート表し		スチール棚
2	倉庫	コンクリートこて押入 500角	外壁表し 一部ビニル巾木 H=60	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法 一部スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		スチール棚
2	保管庫	コンクリートこて押入	ビニル巾木 H=60	スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	スレートボード(フレキシブル板)厚4底目地張り	2150	
1~2	階段	モルタルこて押入(溶接金網3.2 × 50 × 50)	鉄骨PL SOP塗り	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法 一部スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		
2の上	保管庫上部	合板厚18張り(ビス止め)	外壁表し	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		

スレートボード(フレキシブル板)厚4・5・8	不燃材料
オレフィン樹脂系フォーム厚4	不燃材料



1階面積算定図

/// 建築面積算定用



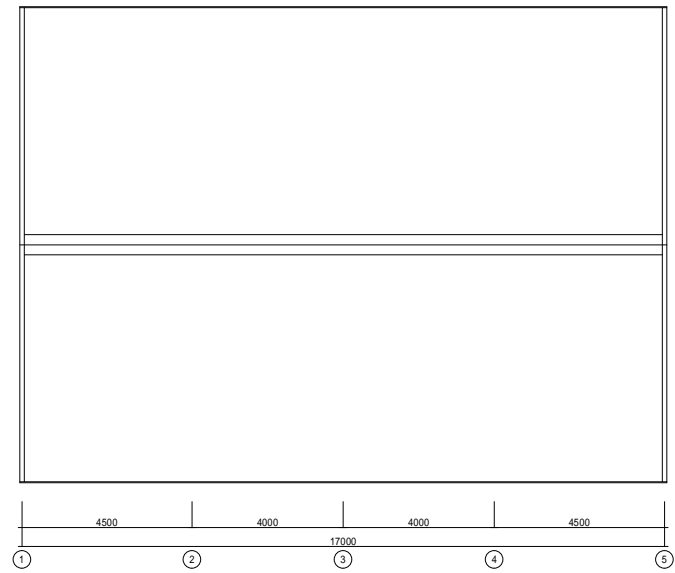
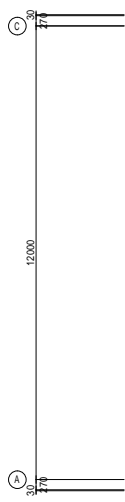
2階面積算定図

面積計算表	記号	面積	延床面積
1階床面積	A	17.00 × 12.00 × 1 = 204.0000	204.0000
	計		204.00 m2
2階床面積	B	4.50 × 7.20 × 1 = 32.4000	32.4000
	C	3.1345 × 4.80 × 1 = 15.0456	15.0456
	D	1.40 × 3.85 × 1 = 5.3900	5.3900
	計		52.8356
			52.83 m2
建築面積	1階床面積		204.0000
	あ	5.00 × 0.50 × 1 = 2.5000	2.5000
	い	3.00 × 0.30 × 1 = 0.9000	0.9000
	計		207.4000
			207.40 m2
車庫面積	ア	8.50 × 4.18 × 1 = 35.5300	35.5300
	イ	15.50 × 3.00 × 1 = 46.5000	46.5000
	計		82.0300
			82.03 m2
倉庫面積	延床面積		256.83
	車庫面積		-82.03
	計		174.80 m2

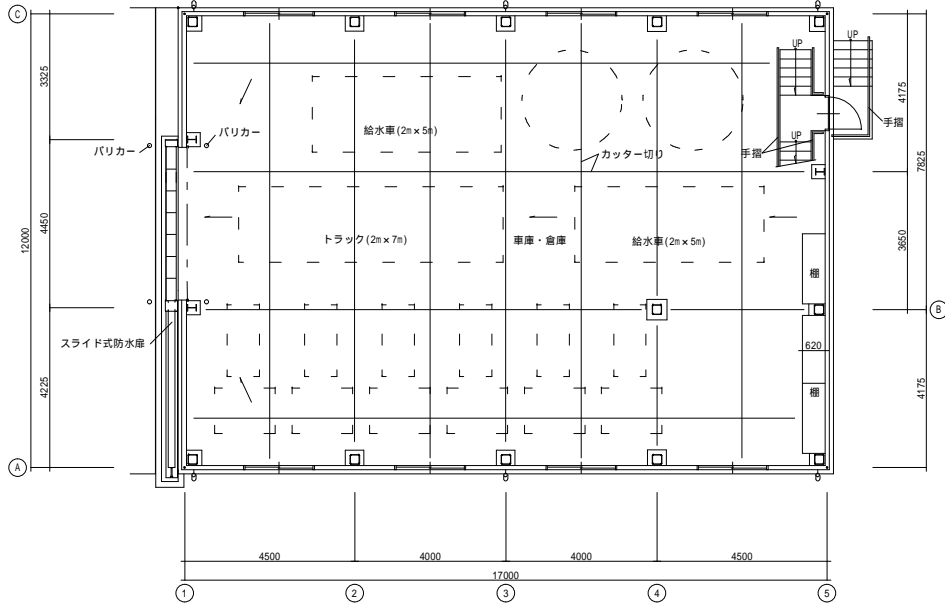
建築面積	207.40m2
1階床面積	204.00m2
2階床面積	52.83m2
延床面積	256.83m2



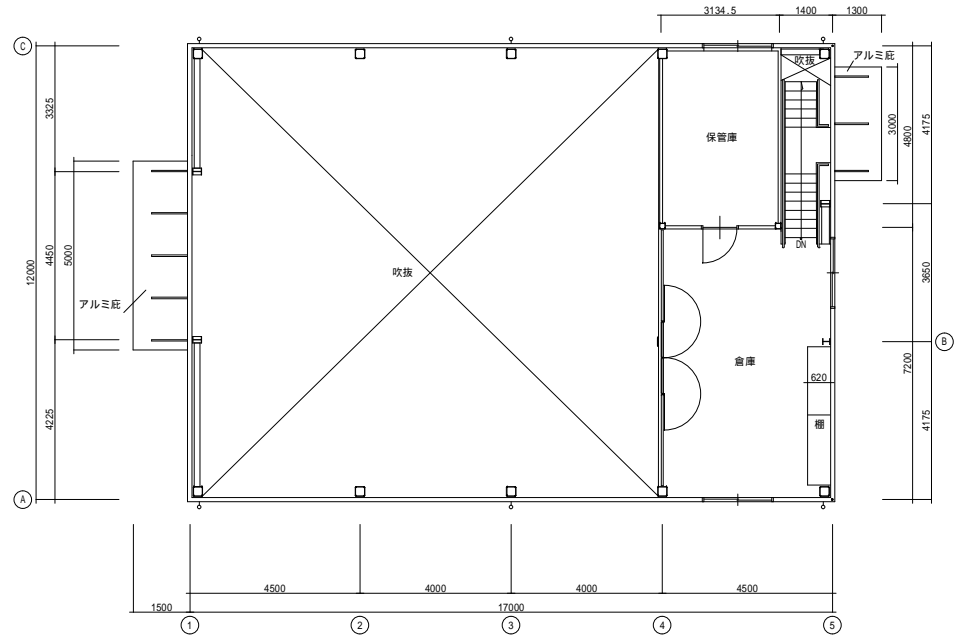
屋内階段	鉄骨階段 有効巾 830mm 踏面 240mm 蹴上 183.167mm - 185.625mm
屋外階段	鉄筋コンクリート階段 有効巾 918.65mm 踏面 240mm 蹴上 191.667mm



屋根伏図



1階平面図



2階平面図

徳島県土整備部管轄課

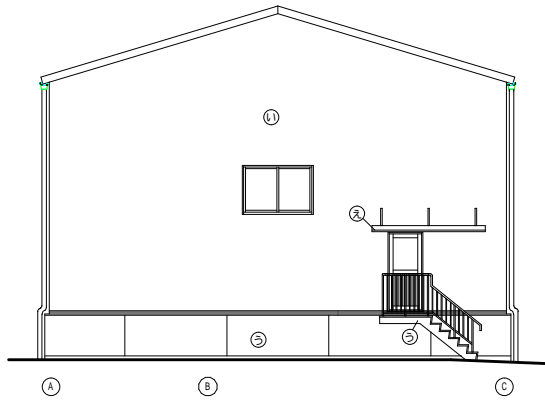
工事名 R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号 B-011

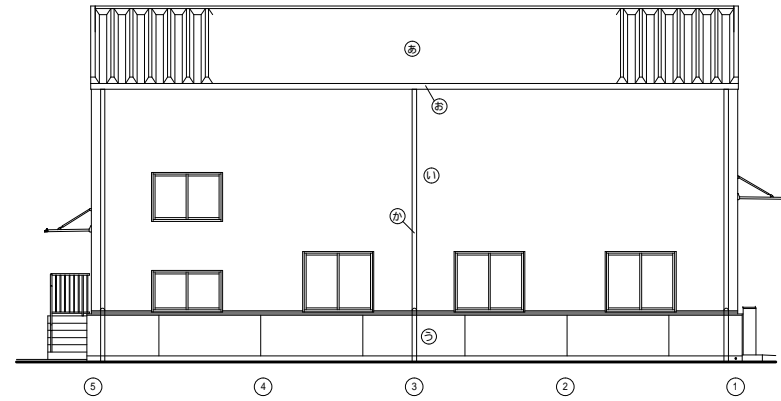
株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川藤社一部

図面名 1・2階平面図、屋根伏図

縮尺 1/100

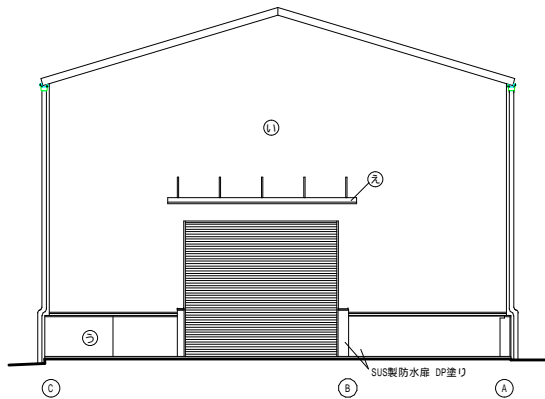


東立面図

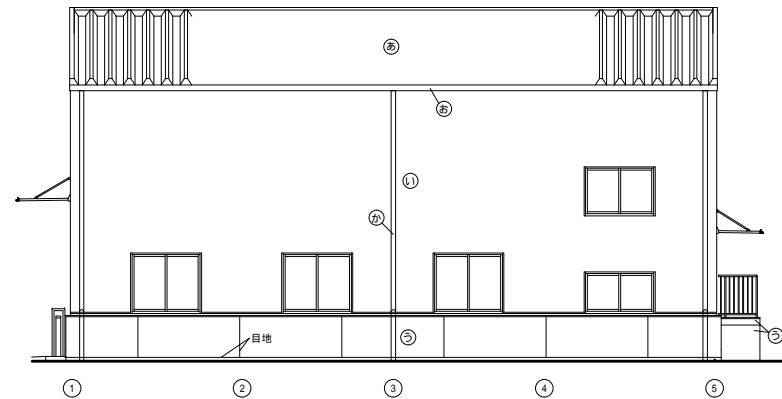


北立面図

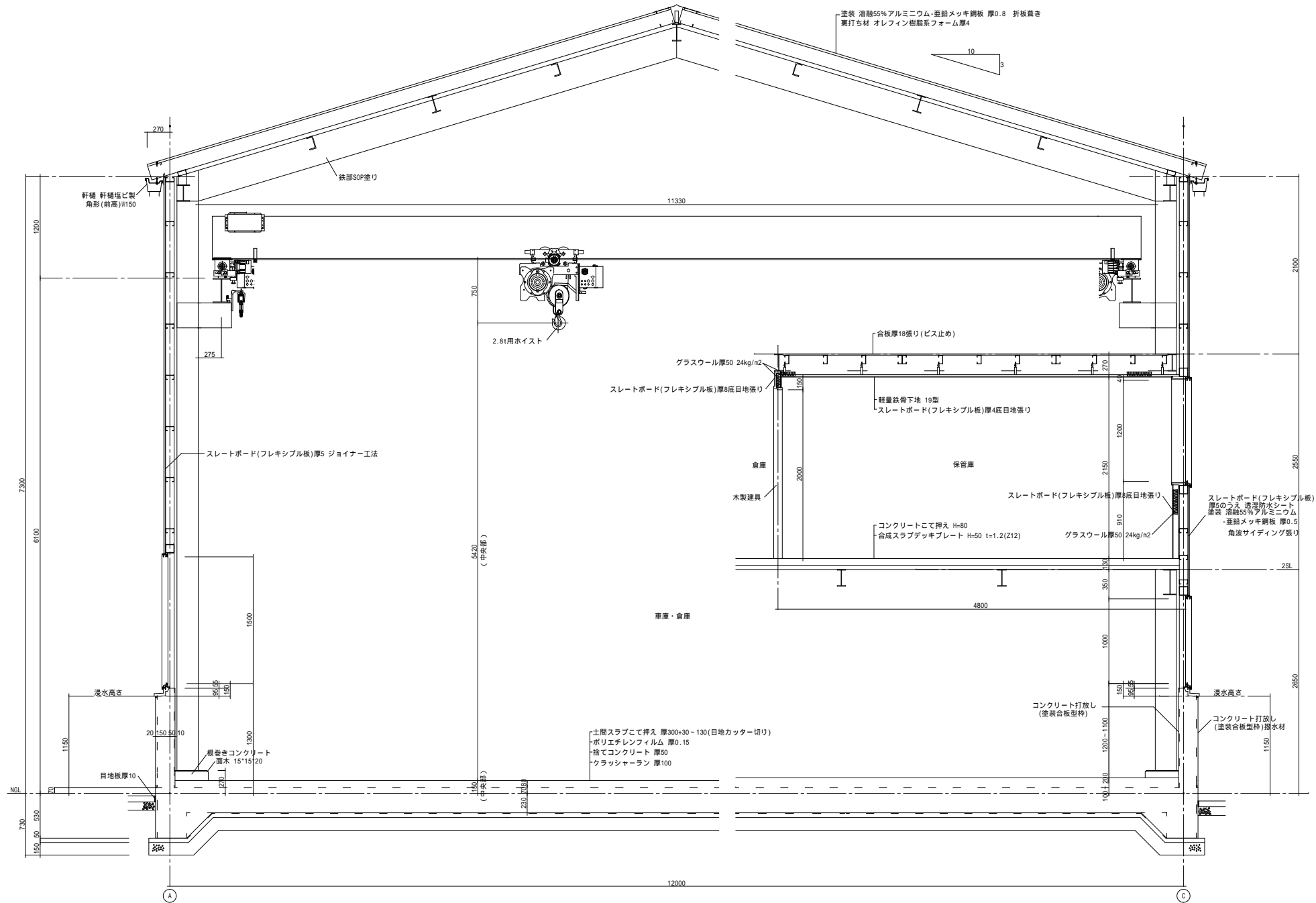
記号	仕上
②	屋根 塗装 溶融55%アルミニウム・亜鉛メッキ鋼板 厚0.8 折板葺き 裏打ち材 オレフィン樹脂系フォーム厚4
①	外壁 塗装 溶融55%アルミニウム・亜鉛メッキ鋼板 厚0.5 角流サイディング張り
⑤	巾木 コンクリート打放し(塗装合板型枠)撥水材
②	アルミ庇
⑥	軒樋 カラー塩ビ製 角形(前高)H150
⑦	タテ樋 カラーVP 100



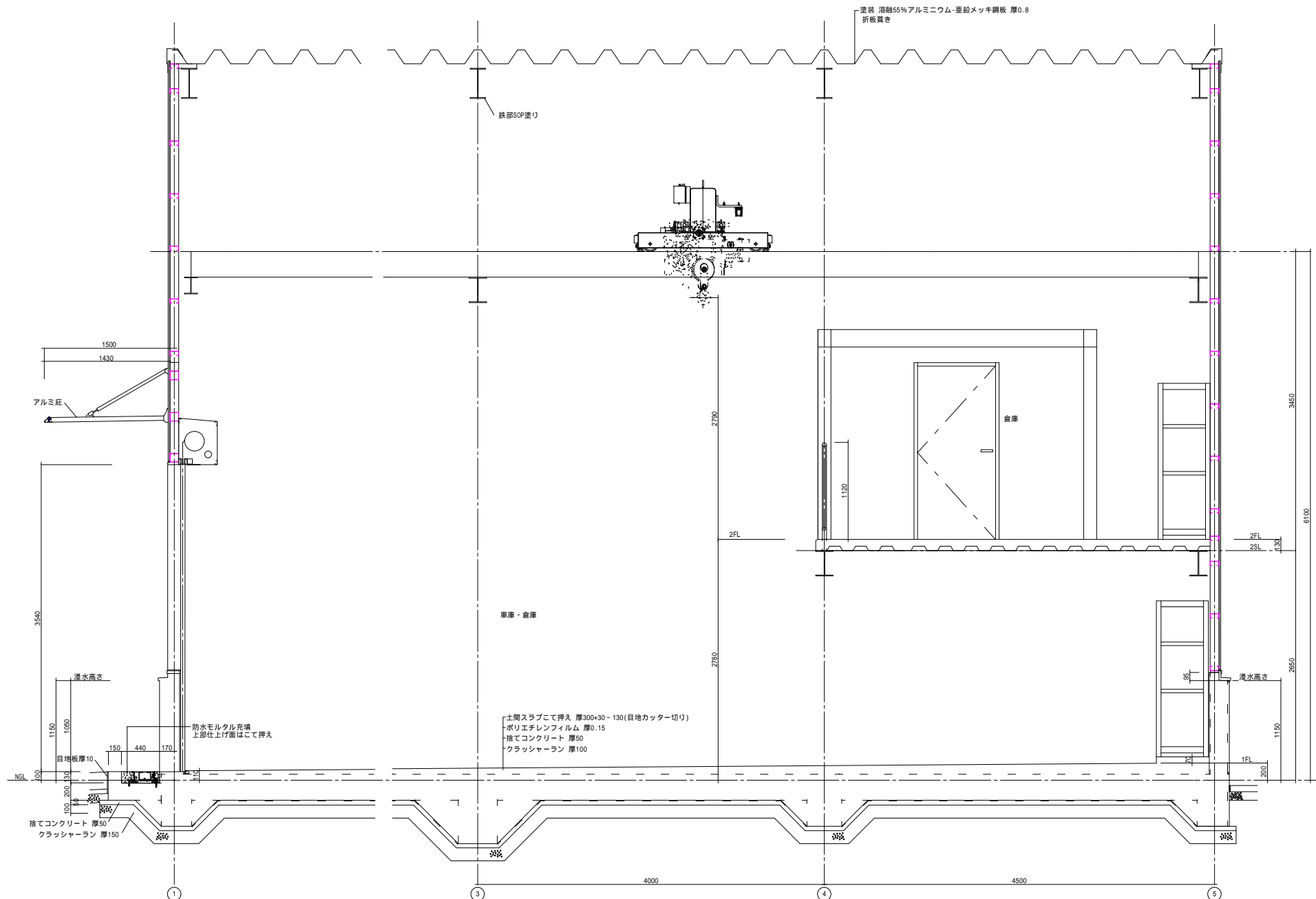
西立面図



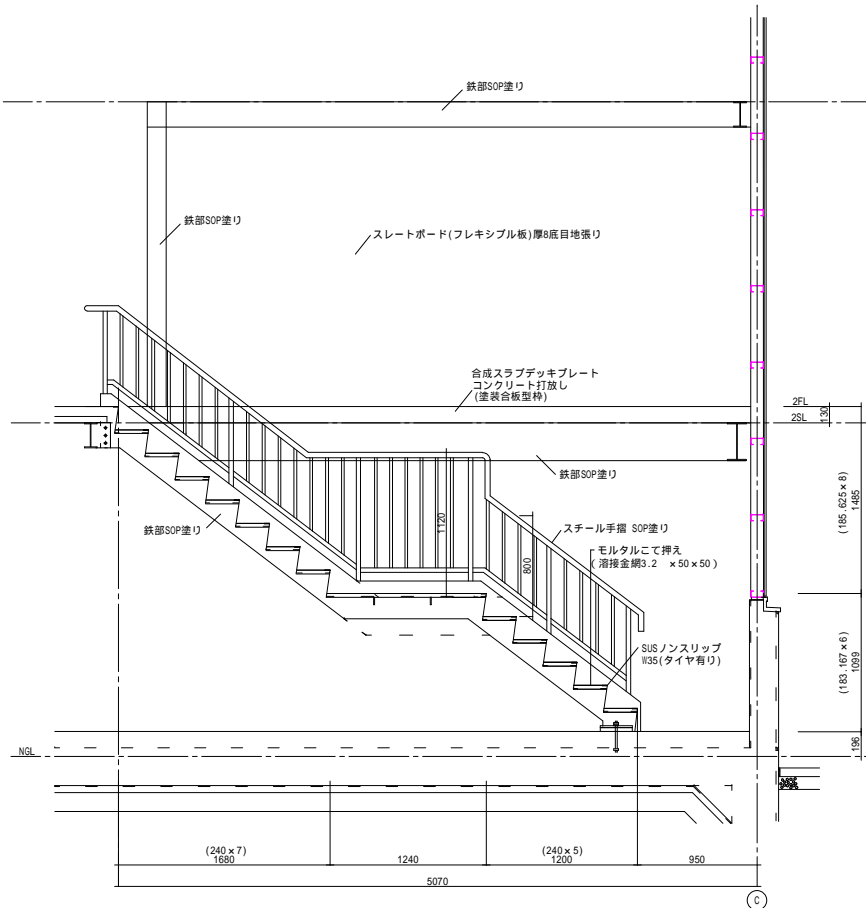
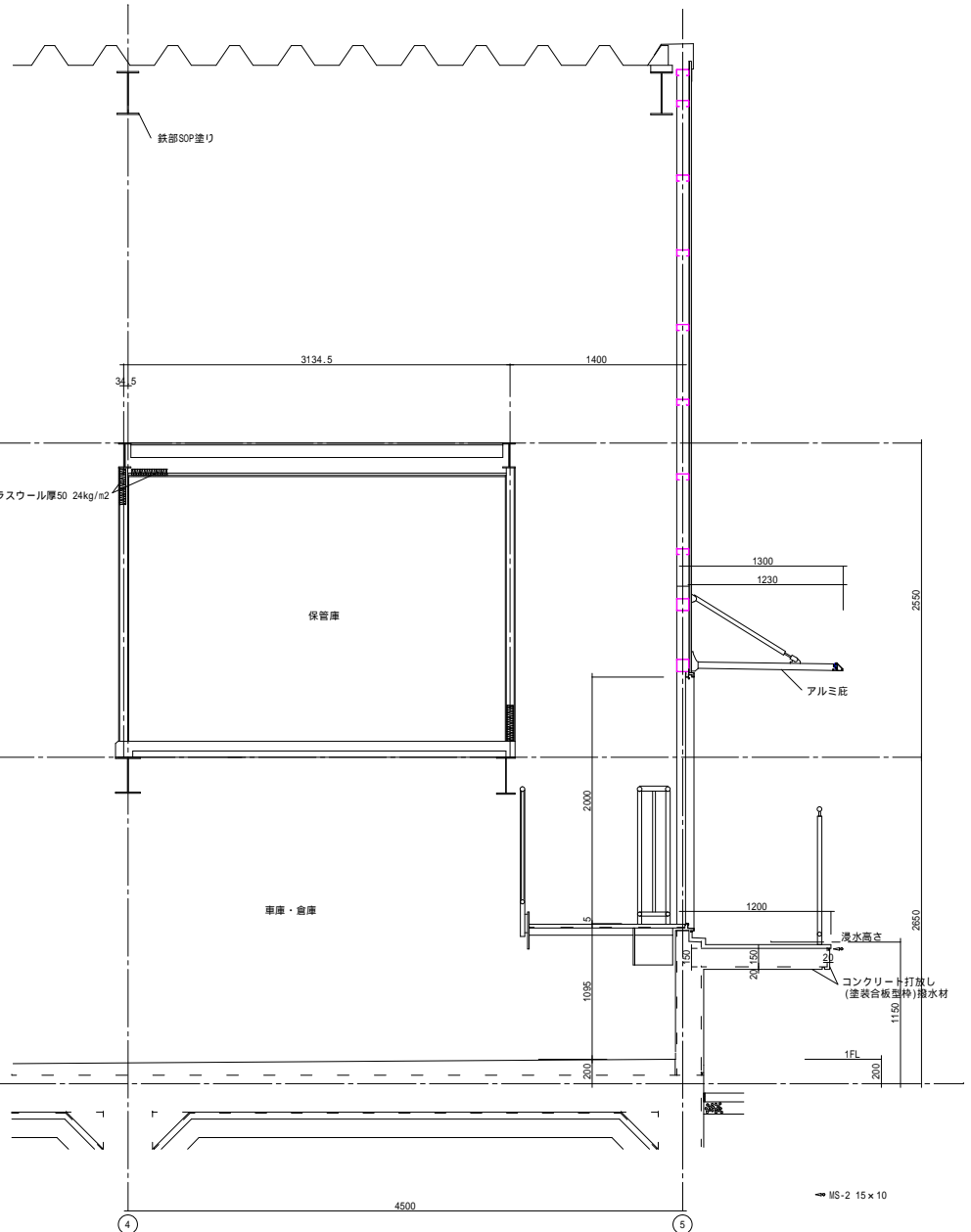
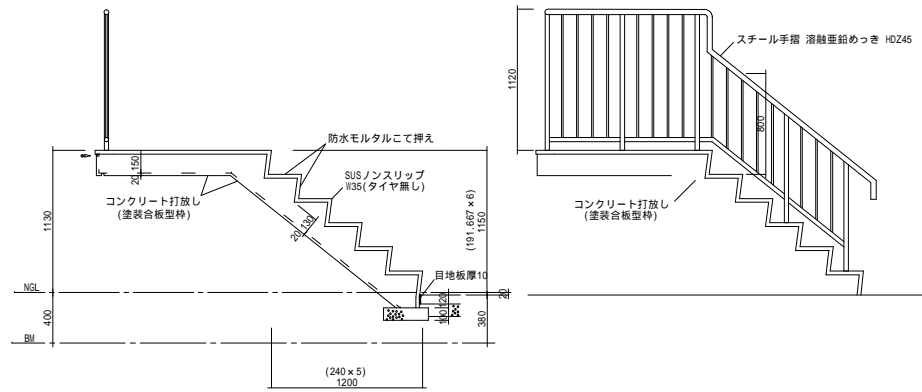
南立面図



徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	B-013	
	図面名	縮尺	
	矩計図 1	1/30	



	徳島県土整備部管轄課	工事名 R 1 倉庫 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事 図面名 矩計図 2	図面番号 B-014 縮尺 1/30	1級建築士登録 株式会社 川建設計 第126265号 川建社一部
--	------------	--	-----------------------------	---

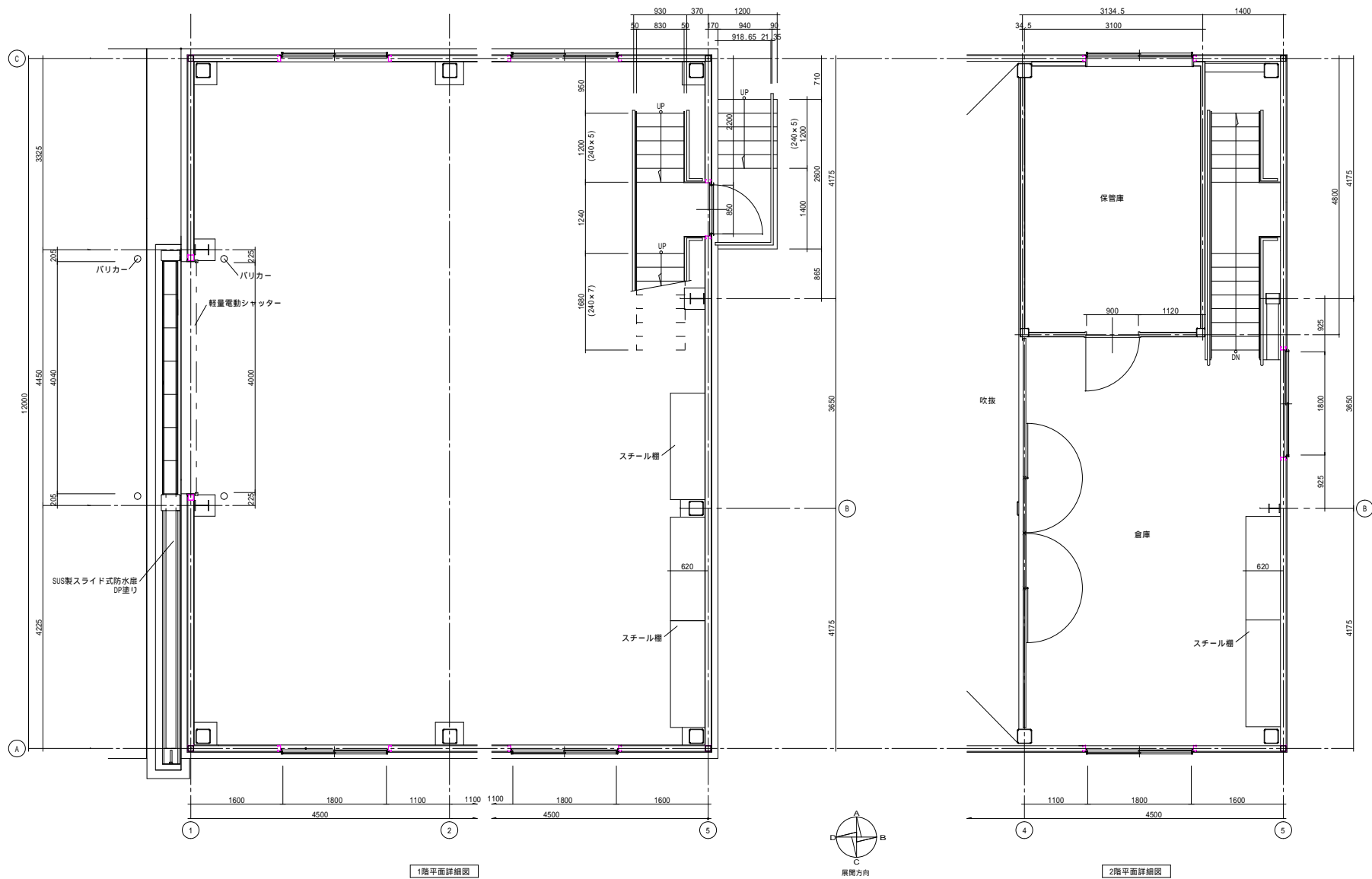


徳島県農土整備部営繕課

工事名 R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 断面詳細図

図面番号 B-015
縮尺 1/30

株式会社 川建設
1級建築士登録 第126265号
川達社一 部



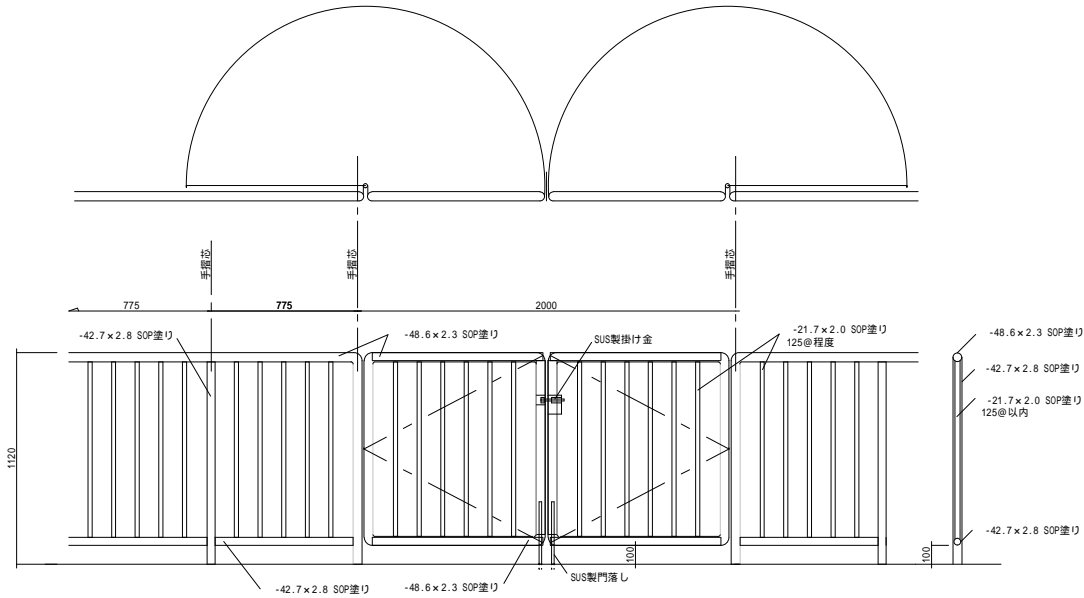
1階平面詳細図

2階平面詳細図

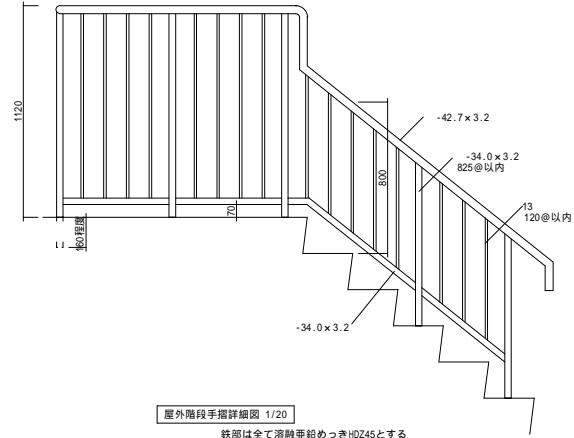
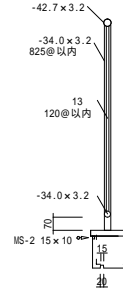


徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	1級建築士登録 株式会社 川建設 第126265号 川建社一部
	R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	B-016	
	図面名	縮尺	
	平面詳細図	1/50	

型式	両開き手摺戸(常時は閉鎖使用)
材質	スチール SOP塗り
室名(数量)	2階倉庫 (1ヶ所)
付属金物	SUS製重量用丁番、SUS製掛け金 SUS製門落し、SUS製開放時ストッパー 他一式

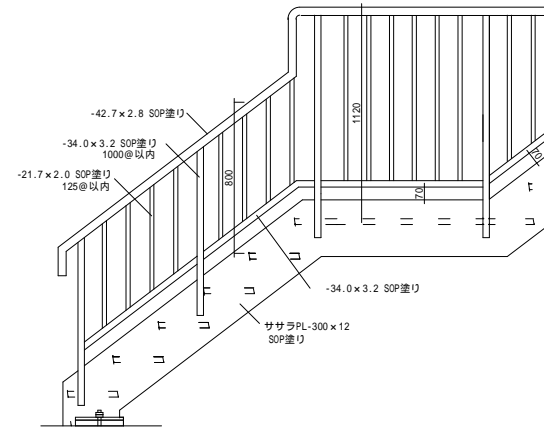


吹抜部スチール手摺・両開き手摺戸詳細図 1/20

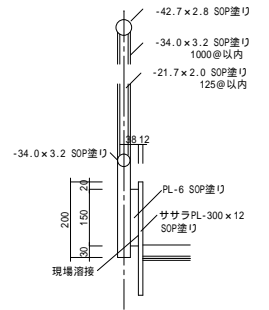


屋外階段手摺詳細図 1/20

鉄部は全て溶融亜鉛めっきH0Z45とする



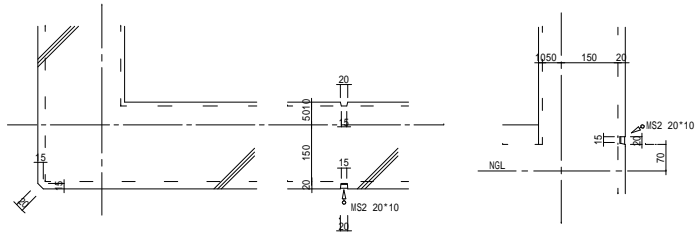
屋内階段手摺詳細図 1/20



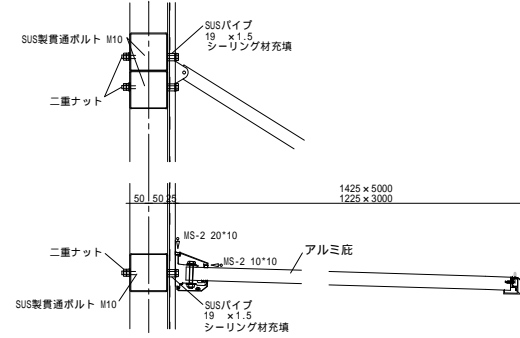
屋内階段手摺詳細図 1/10

<p>1階AW1・3廻り詳細図 1/10</p> <p>止め線は塗装 溶融55%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>1階AD1廻り詳細図 1/10</p> <p>止め線は塗装 溶融55%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>2階AW2廻り詳細図 1/10</p> <p>止め線は塗装 溶融55%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>2階AW2'廻り詳細図 1/10</p> <p>止め線は塗装 溶融55%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>WD1 スチール製3方枠詳細図 1/10</p>
<p>1階SS1廻り詳細図 1/10</p> <p>止め線は塗装 溶融55%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>2階保管庫廻り壁詳細図 1/10</p> <p>塩ビ製廻り線</p>	<p>屋内階段床詳細図 1/10</p> <p>モルタルこて押え 溶接金綱 3.2 x 50 x 50 SUS304 SUS316 (タイヤ有り) D10溶接</p>		
<p>基礎土台水切り詳細図 1/10</p> <p>透湿防水シート スレートボード(フレキシブル板) 厚5 ショイナー工法 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.5 角溶サイディング張り 水切り 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.4 モルタル詰め 防水モルタルこて押え MS-2 15 x 10</p>	<p>外壁出隅役物詳細図 1/10</p> <p>出隅役物 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.4 外壁仕様は水切り部と同じ</p>	<p>軒先納まり詳細図 1/10</p> <p>軒先見切り面 タイトフレーム 軒先取合い水切り 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.4 カラー塩ビ角種 W=150(前高) タテ種 カラーVP 100 外壁仕様は水切り部と同じ</p>	<p>ケラバ納まり詳細図 1/10</p> <p>ケラバ包み 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.8 兼用タイトフレーム 外壁仕様は水切り部と同じ</p>	<p>棟納まり詳細図 1/10</p> <p>棟押え 塗装 溶融55%アルミニウム 亜鉛メッキ鋼板 厚0.8 横用タイトフレーム 水上葺 エプロン</p>
<p>徳島県土整備部宮橋課</p>			<p>工事名 R 1 宮橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事 図面番号 B-018 図面名 部分詳細図 1</p>	<p>図面番号 B-018 縮尺 1/10 株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部</p>

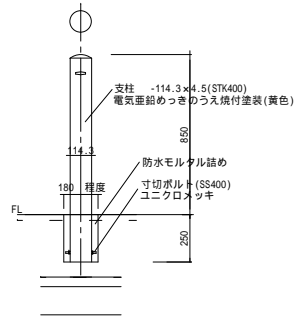
外壁、内壁目地・面木詳細図(参考図) 1/10



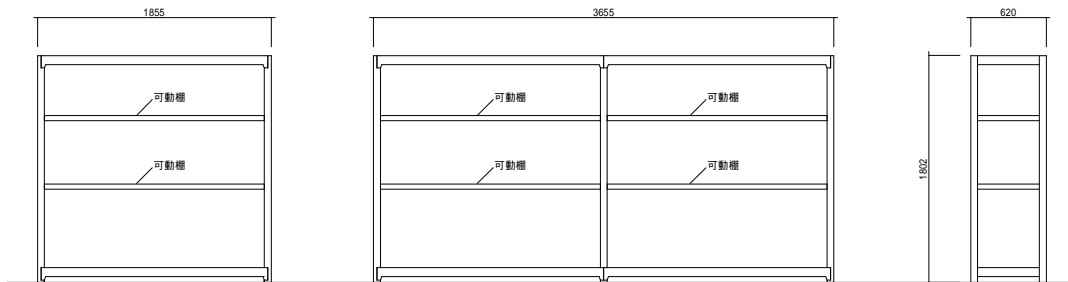
アルミ庇詳細図 1/10



バリカー詳細図(参考図) 1/20



スチール棚(参考図) 1/30



中量スチール棚

耐荷重	500kg/1段
素材	スチール
塗装	メラミン焼付塗装

SUSビスにてC形棚、RC壁にビス止めを施し固定すること。

徳島県土整備部管轄課

工事名 R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

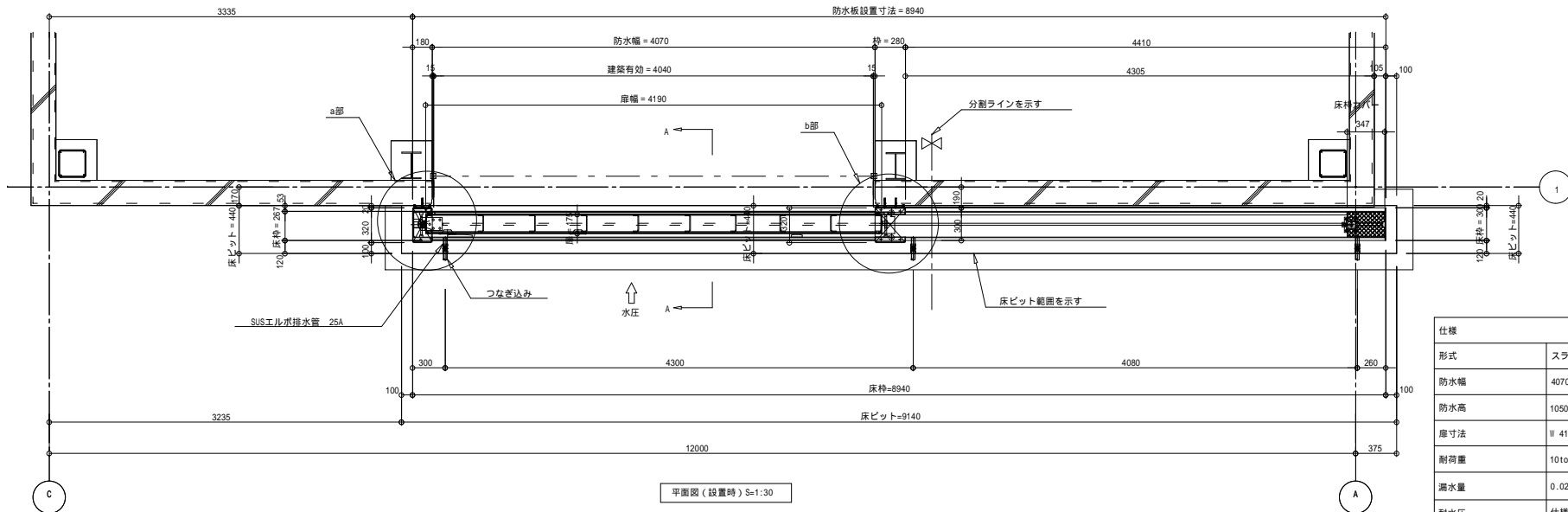
図面番号 B-019

株式会社 川建設

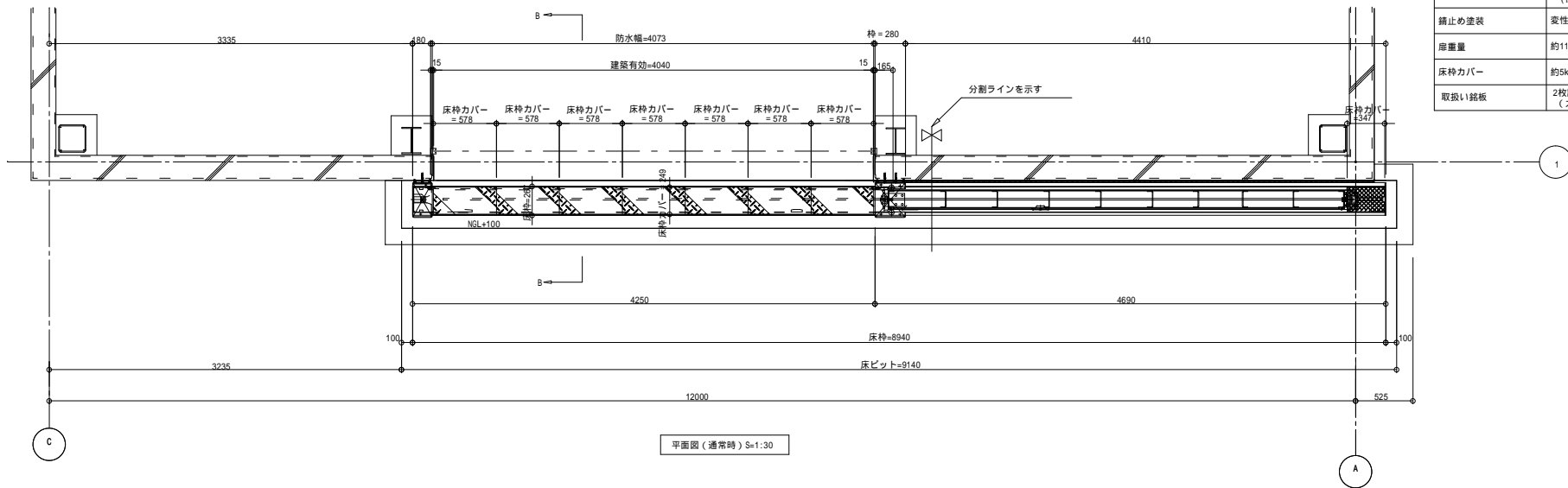
1級建築士登録
第126265号
川建社一 部

図面名 部分詳細図 2

縮尺 1/10 1/20 1/30

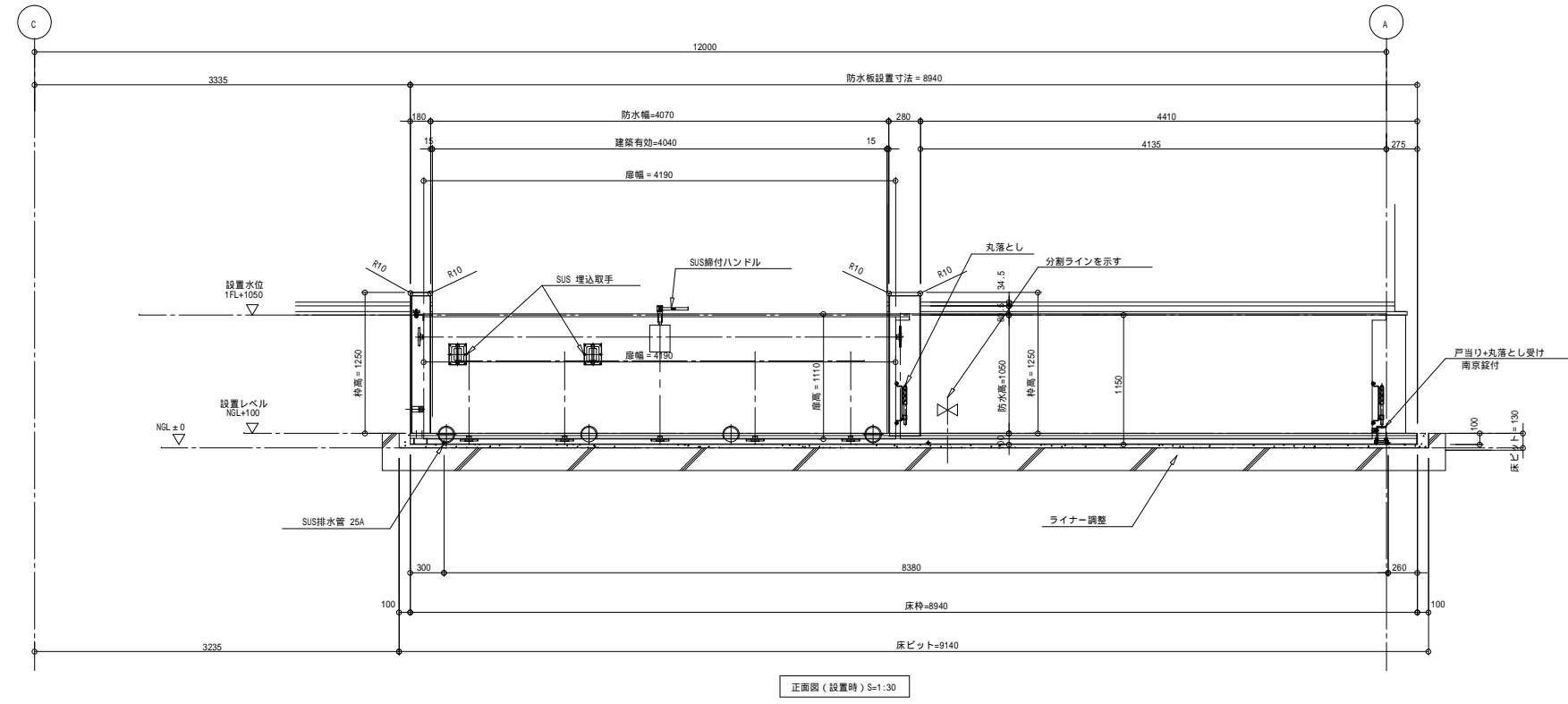
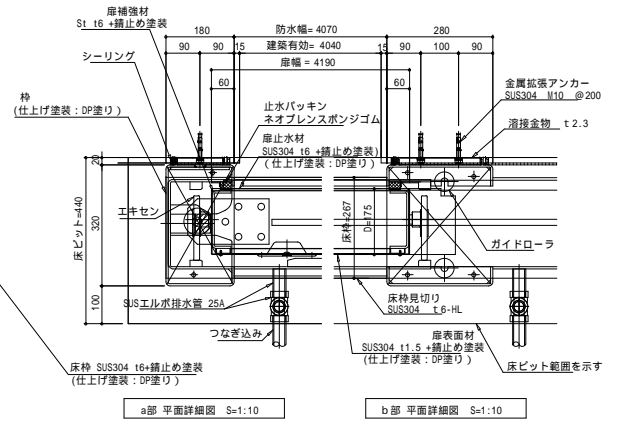
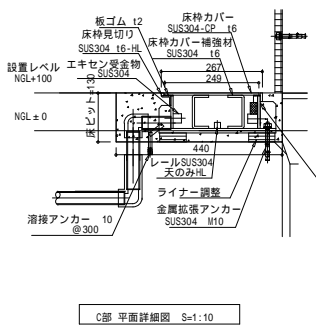
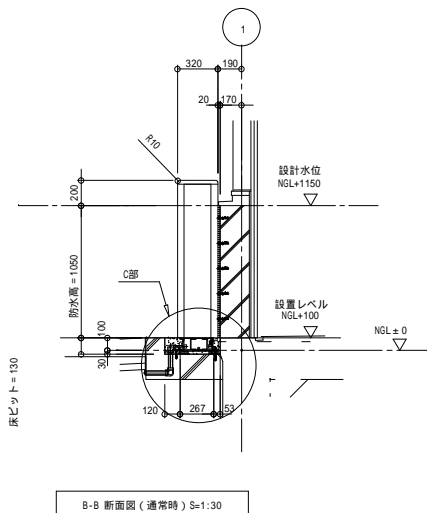
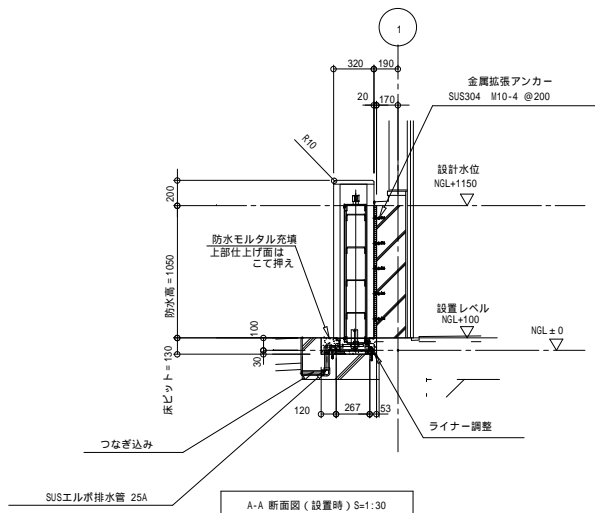


平面図（設置時）S=1:30

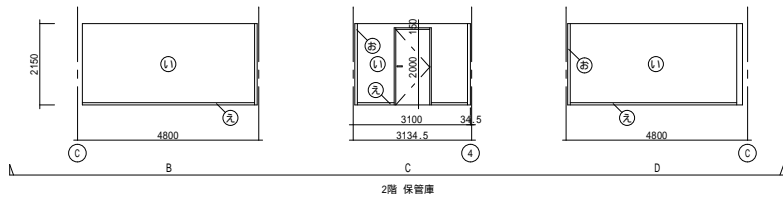


平面図（通常時）S=1:30

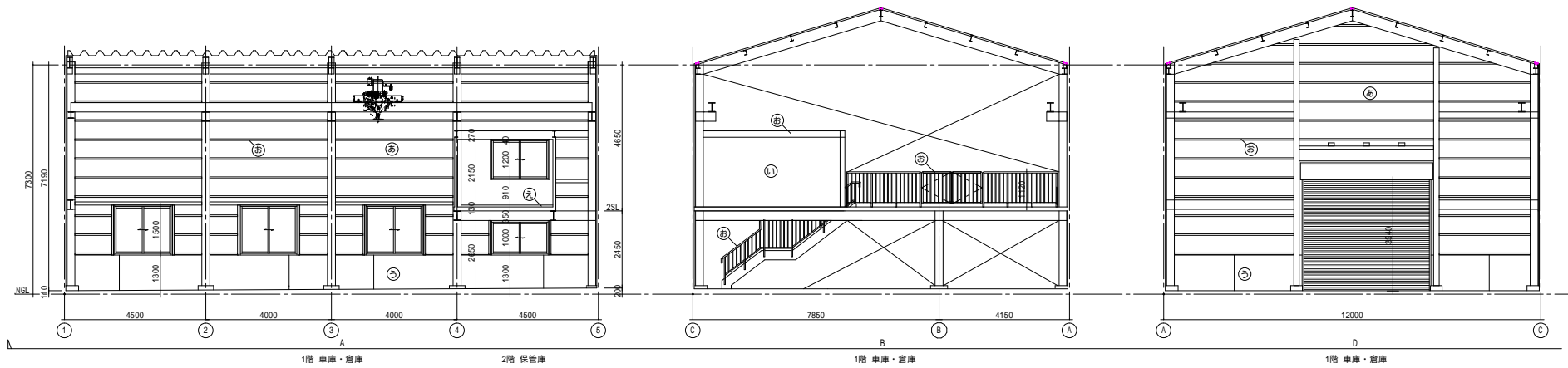
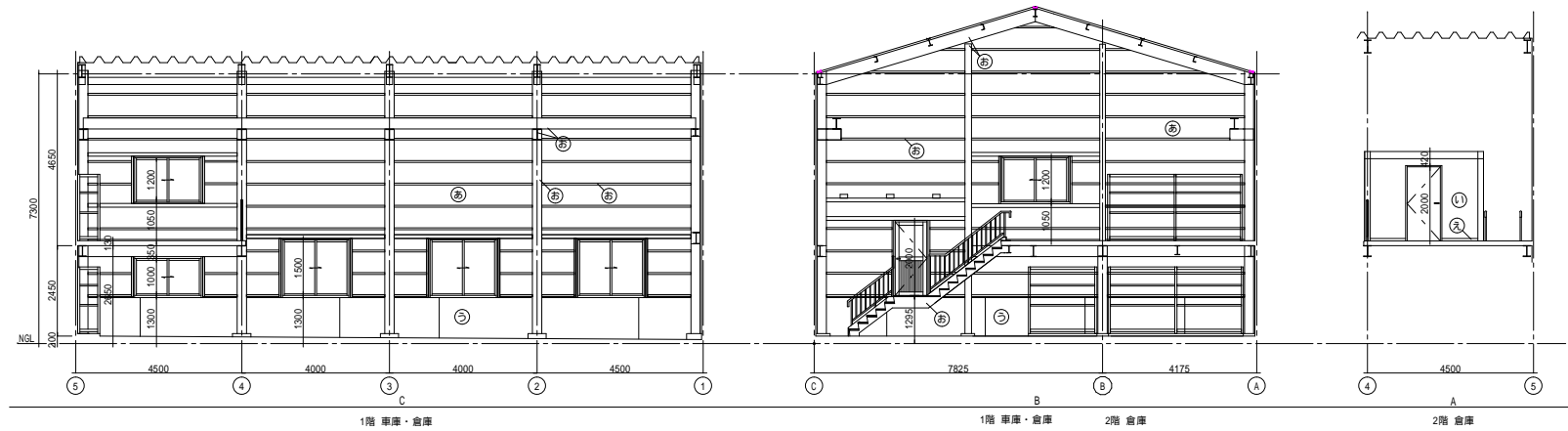
仕様	
形式	スライド式防水扉（正水圧）
防水幅	4070mm
防水高	1050 mm
扉寸法	W 4190 × H 1110 × D 175 [mm]
耐荷重	10ton
漏水量	0.02 m ² /h/m ² （工場出荷時）
耐水圧	仕様の「防水高さ」までの水圧
主要材質	表面：SUS304 錆止め塗装（仕上げ塗装：DP塗り） 扉骨材：ｽﾌﾟﾗｰ錆止め塗装仕上げ（仕上げ塗装：DP塗り） 枠：SUS304+錆止め塗装仕上げ（仕上げ塗装：DP塗り）
錆止め塗装	変性エポキシ樹脂下塗り塗料 グレー色
扉重量	約1100kg
床枠カバー	約5kg/枚
取扱い銘板	2枚設置（大きさ内容は仕様メーカーによる）



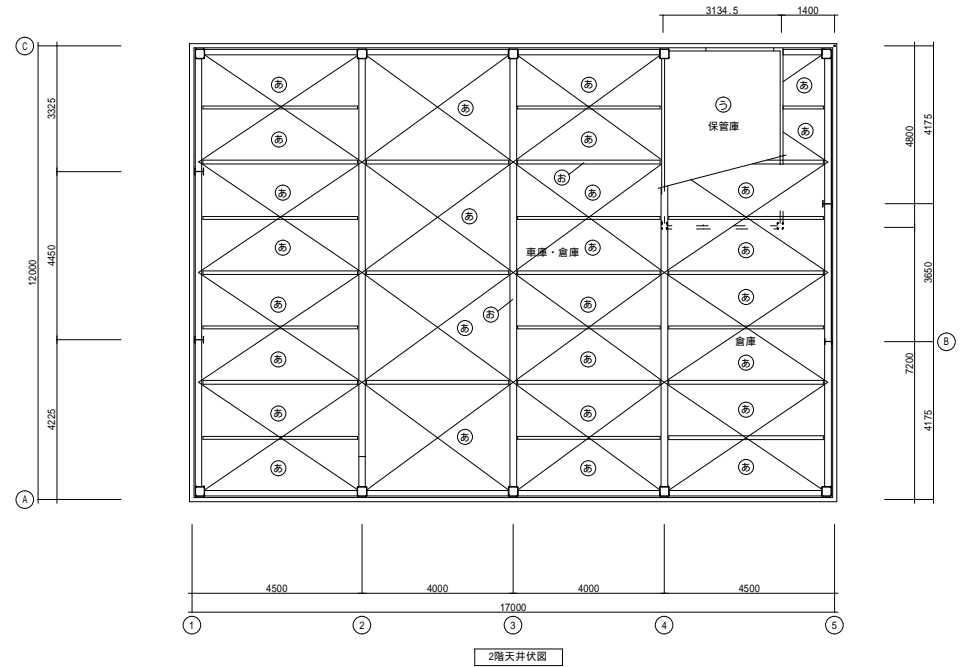
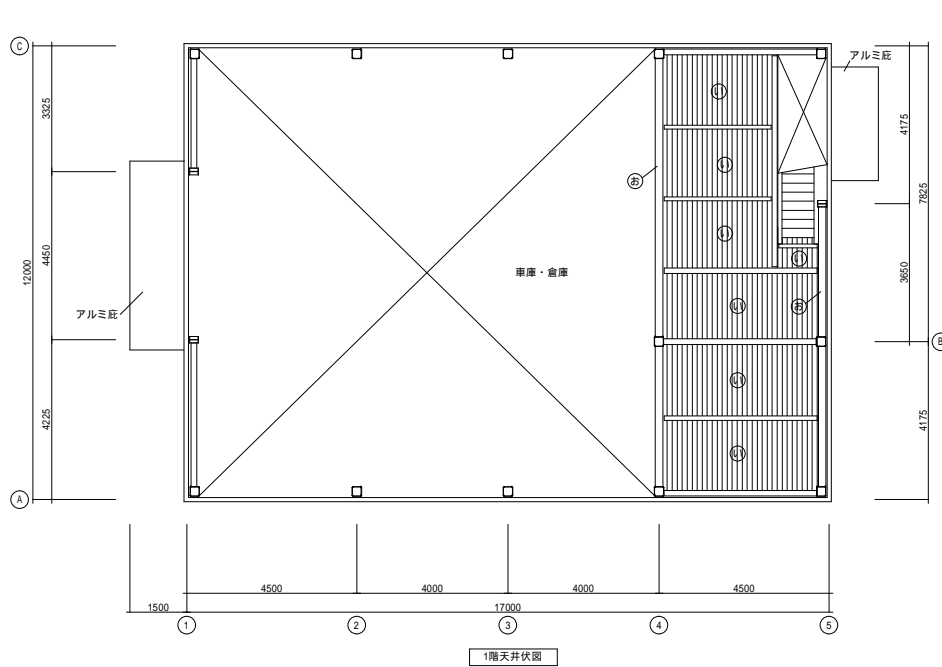
徳島県土木整備部管轄課	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川崎社一 部
	R1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	B-021	
	図面名	縮尺	
	防水扉詳細図 2(参考図)	1/30	



記号	仕上
㉔	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法
㉕	スレートボード(フレキシブル板)厚6 底目地張り
㉖	コンクリート打放し(塗装合板型枠)
㉗	ビニル巾木 H=60
㉘	鉄部 SOP塗り



記号	仕上
㊦	屋根表し
㊧	デッキプレート表し
㊨	スレートボード(フレキシブル板)厚4底目地張り
㊩	アルミ庇
㊪	鉄部 SOP塗り



徳島県土整備部管轄課

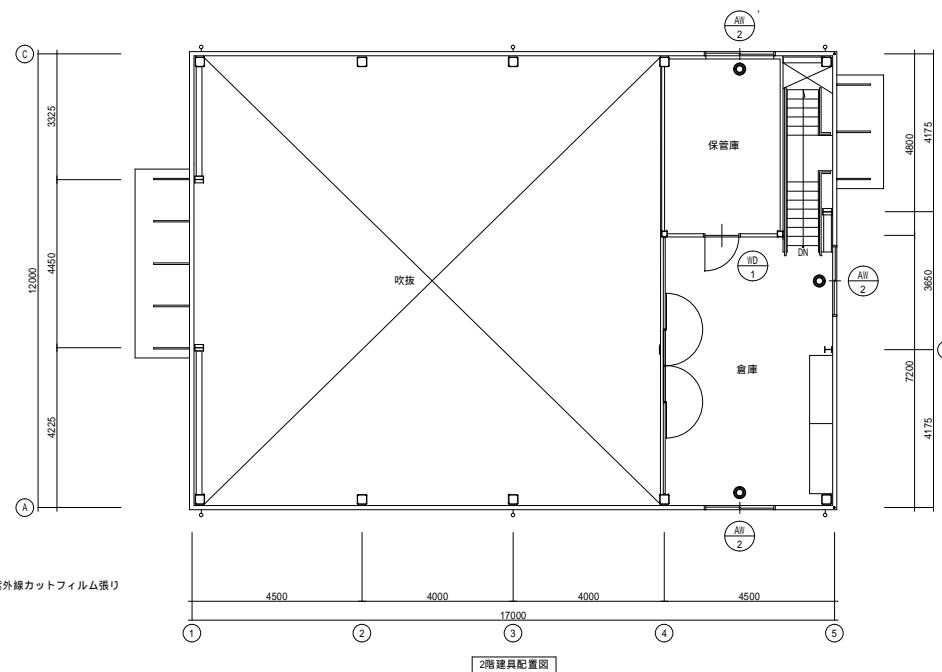
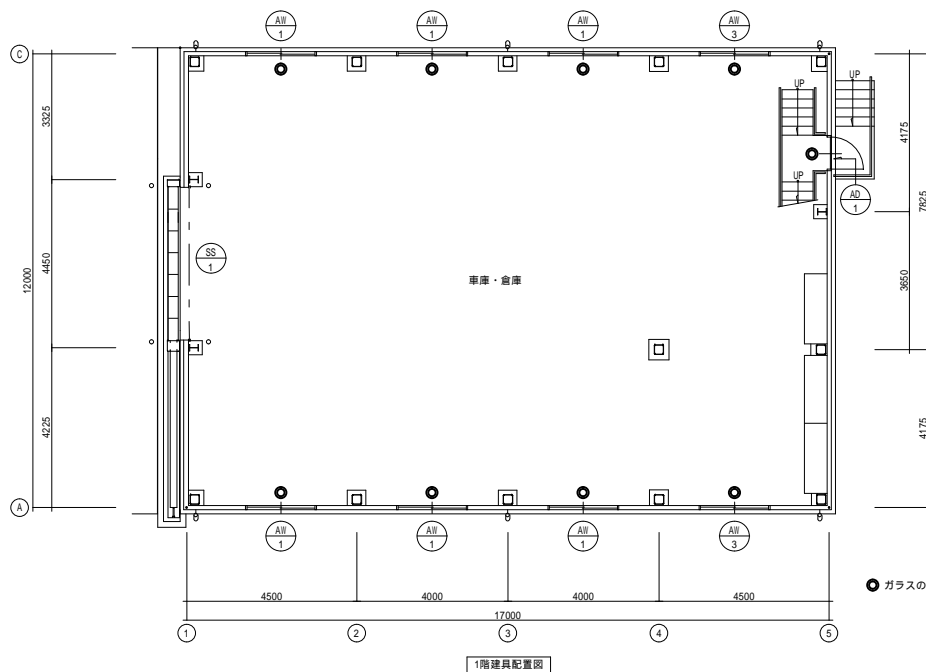
工事名 R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 1・2階天井伏図

図面番号 B-023
縮尺 1/100

株式会社 川建設計
1級建築士登録 第126265号
川建設計 川建設計 川建設計

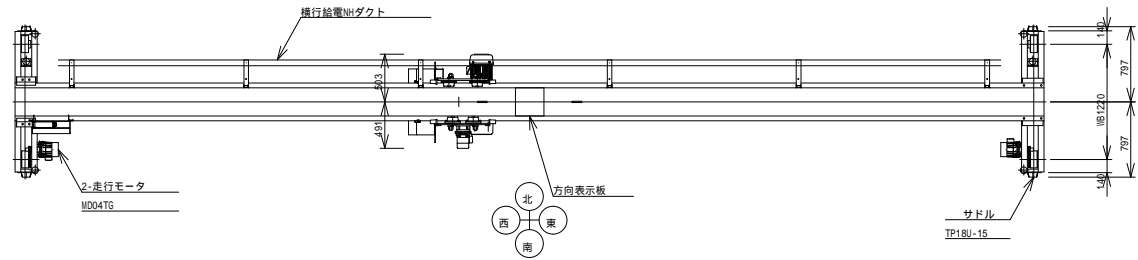
記号	AW1	AW2 AW2'	AW3	AD1	SS1	WD1
概図						
型式	引違い窓	引違い窓	引違い窓	片開き框戸	軽量電動シャッター	片開きフラッシュ戸(スチール製3方枠)
材質(見込)	アルミ(シルバー) (70)	アルミ(シルバー) (70)	アルミ(シルバー) (70)	アルミ(シルバー) (70)	スラット t=0.8	3方枠 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 S0P (100) 扉 ポリエステル合板両面フラッシュ (36)
室名(数量)	1階車庫・倉庫 (6)	2階倉庫 AW2 (2) 2階保管庫 AW2' (1)	1階車庫・倉庫 (2)	1~2階階段 (1)	1階車庫・倉庫 (1)	2階保管庫 (1)
ガラス	網入り磨き板ガラス6.8mm	AW2: 網入り磨き板ガラス6.8mm AW2': 複層(フロート5.0mm+空気層6mm+網入り磨き6.8mm)	網入り磨き板ガラス6.8mm	網入り磨き板ガラス6.8mm		
付属金物	戸車、クレセント 他一式	戸車、クレセント AW2'のみアルミ隠線 W165 他一式	戸車、クレセント 他一式	丁番、押棒、ドアクローザー、シリンダー錠 SUS下枠 他一式	レール(SUS製)、まぐさ(SUS製)、座板(SUS製)、角型ケースリモコンスイッチ、外装部溶融亜鉛メッキ鋼3方枠 他一式	ピボットヒンジ、ドアクローザー、レバーハンドルシリンダー錠 他一式
備考	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	スラットの材質は塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯又は塗装溶融亜鉛-5%78:22の合金鋼板及び鋼帯とする	

全てのガラスにはUVカットフィルムを内側から貼り付ける



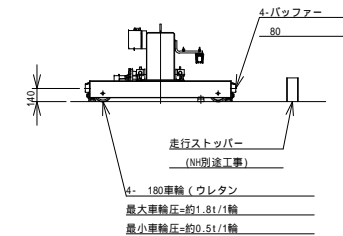
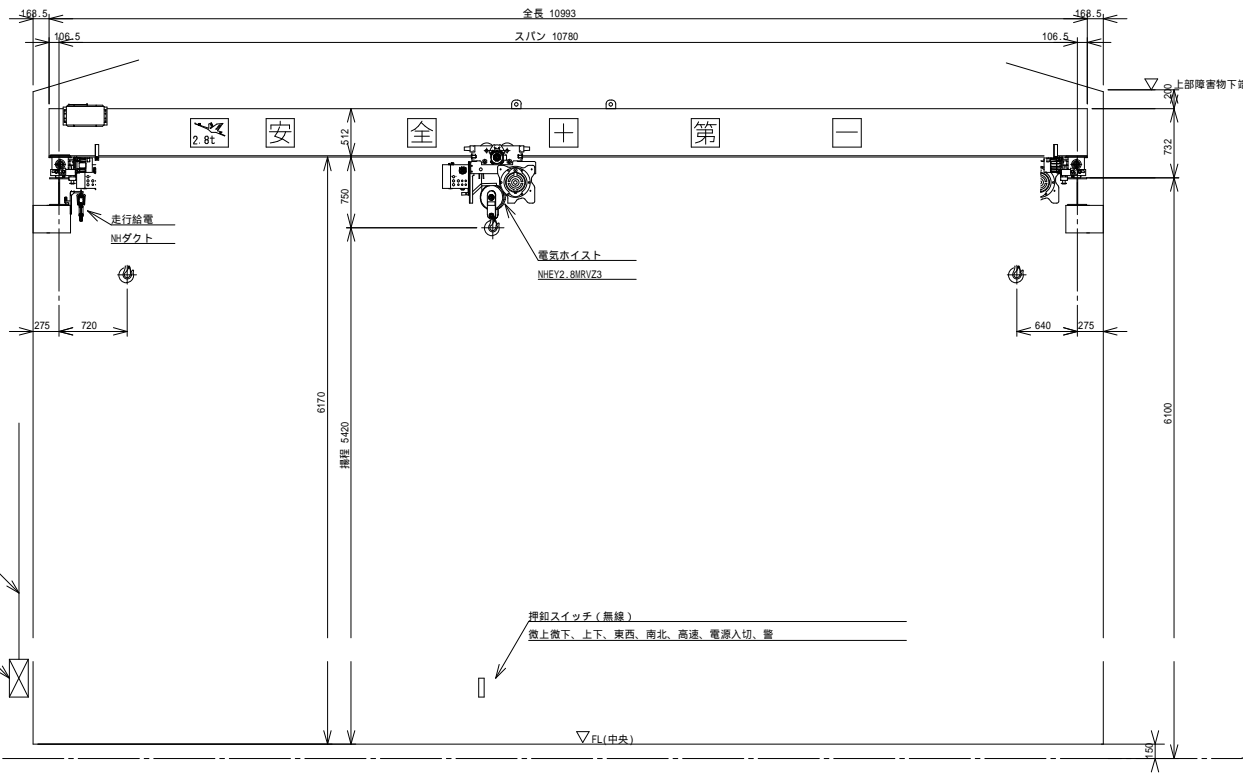
● ガラスの内側から紫外線カットフィルム張り

徳島県土整備部管轄課	工事名 R1 宮橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-024	1級建築士登録 株式会社 川建設 第126265号 川橋社一部
	図面名 建具配置図、建具表	縮尺 1/100	

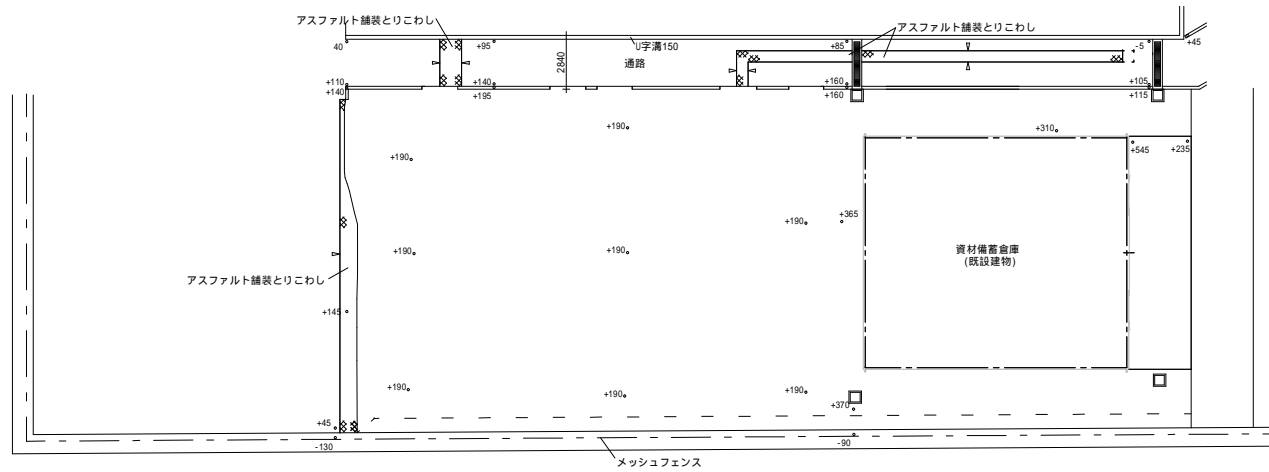


仕様					
定格荷重	2.800 t				
吊上荷重	2.818 t				
スパン	10.780 m				
揚程	5.570 m				
	速度	電動機		定格	ブレーキ
	(m/s)	(m/min)	出力(kW) × 台数	極数 (NE)	
	巻上	0.120	7.2	4 × 1	
横行	0.400	24	0.28 × 1	4 25	電磁ブレーキ
走行	0.400	24	0.4 × 2	4 25	電磁ブレーキ
走行レール	H-294 × 200 × 8 × 12				
巻上用ワイヤロープ	6 × F1(29) 8種 12 × 2				
操作方式	無線押印操作				
電源	三相交流 200V 60Hz				
塗装色	T15-60V (5VR6/12 オレンジ)				
備考	1. 巻上・横行・走行はインバータ制御方				
	2. 走行距離 17 m				
	3.				
	4.				

自重	
クレーン	1081 kg
ホイスト	300 kg
サドル	167 kg
合計	1548 kg

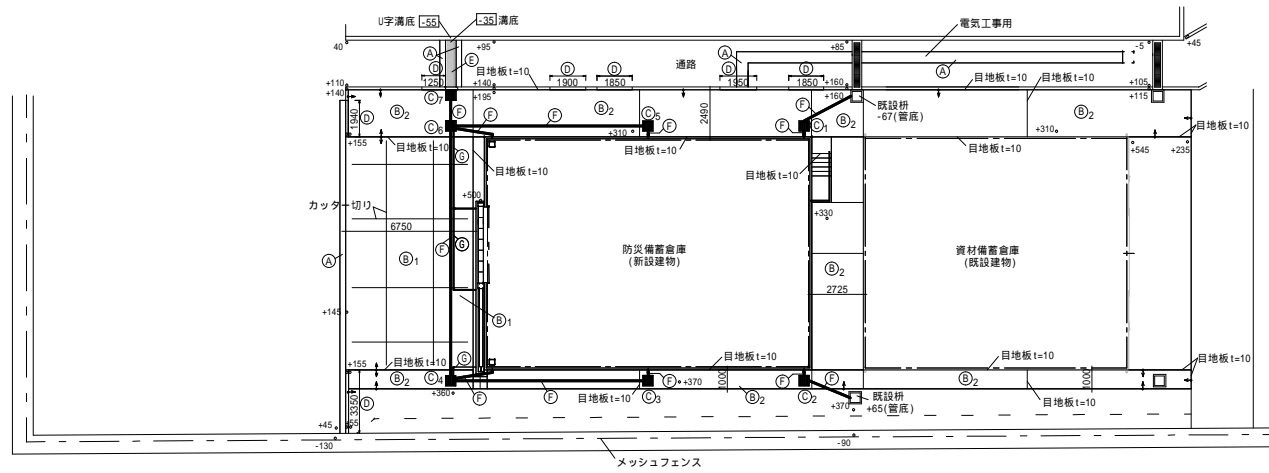


徳島県土整備部管轄課	工事名	R 1 当橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号	B-025	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	図面名	走行クレーン詳細図(参考図)	縮尺	1/40	



外構現況図・撤去図

≡ アスファルト舗装カッター切り



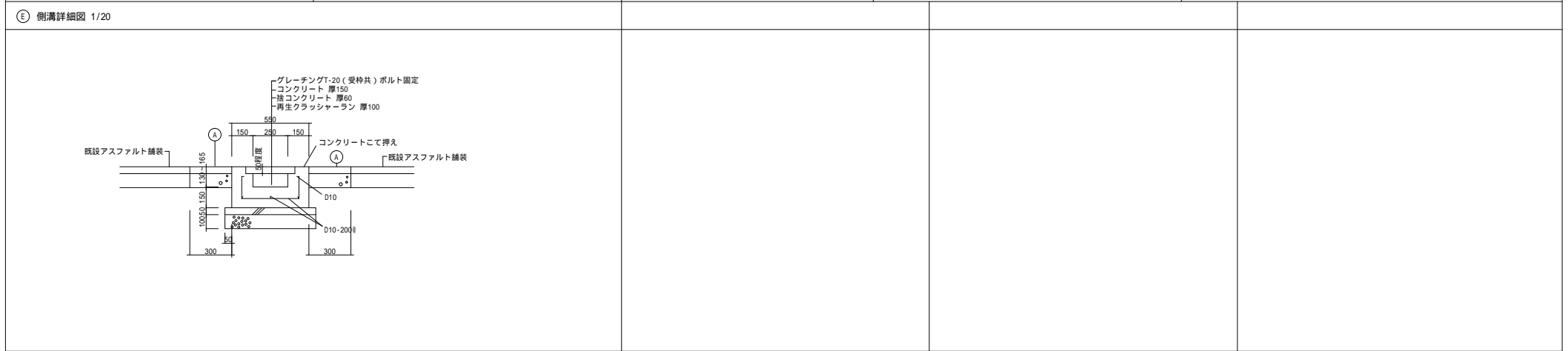
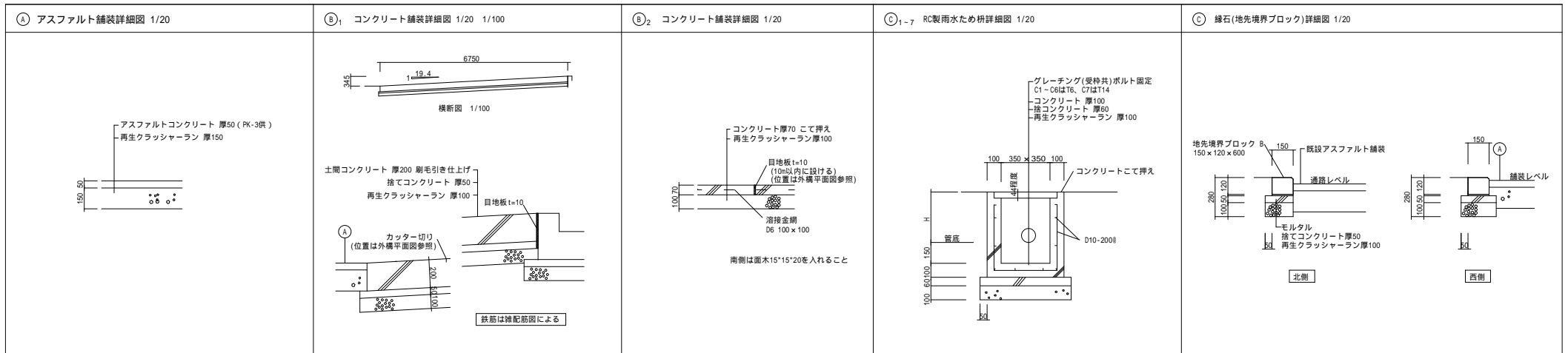
外構平面図

NGL-KBM400とする

新設外構施設

記号	名称
Ⓐ	アスファルト舗装
Ⓑ ₁	コンクリート舗装 (厚200)
Ⓑ ₂	コンクリート舗装 (厚70)
Ⓒ ₁₋₇	RC製雨水ため枡 350×350
Ⓓ	緑石 (地先境界ブロック)
Ⓔ	側溝
Ⓕ	排水管VP100
Ⓖ	排水管VP30

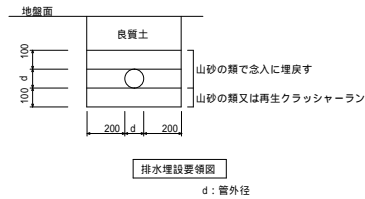
コンクリート舗装B1及びB2は、取合う建物とは、目地板t=10にて縁を切ること。



雨水系統(ため枙)リスト

記号	名称	寸法	上部蓋	周囲地盤高	設計管底	H
Ⓒ1	RC製雨水ため枙	350 x 350	グレーチング蓋	+310	-50	360
Ⓒ2	"	"	"	+370	+100	270
Ⓒ3	"	"	"	+370	+100	270
Ⓒ4	"	"	"	+360	+50	310
Ⓒ5	"	"	"	+310	+35	275
Ⓒ6	"	"	"	+310	-15	325
Ⓒ7	"	"	"	+195	-25	220

レベルはB1からとしている。
管底については、参考値とする。
施工に際しては施工図作成のうえ、掘付位置を決定し、掘付面のレベル測定により、修正を行うこと。



排水埋設要領図

d: 管外径

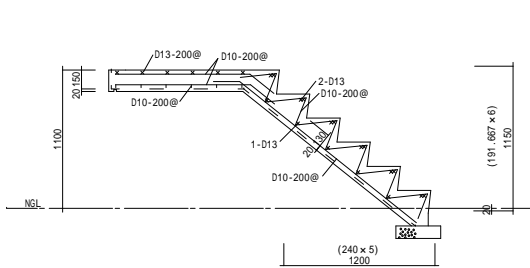
スラブリスト

記号	スラブ厚	位置	主筋	配力筋	備考
FS1	300	上端筋	D13 D10交互-150@	D13 D10交互-300@	モチアミ
		下端筋	D13-150@	D13 D10交互-300@	

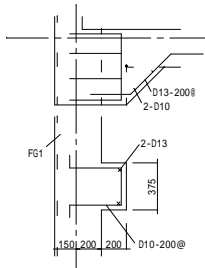


地中梁リスト 1/30

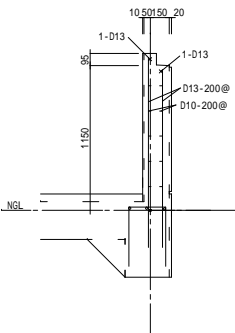
記号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6
寸法 (B x D)	350 x 600	550 x 800	450 x 800	400 x 600	400 x 600	350 x 600
上端筋	3-D19	5-D19	4-D19	3-D19	4-D19	3-D19
中間筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
下端筋	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
スターラップ	D10-200@	D13-200@	D13-200@	D10-150@	D10-150@	D10-200@
備考						かぶり厚82とする(配力筋施工)



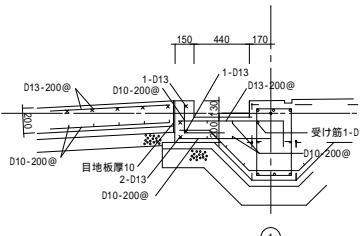
屋外階段配筋図 1/30



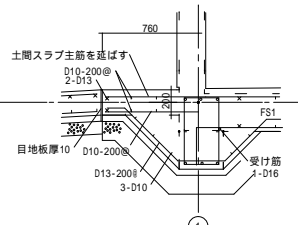
F1部基礎配筋図 1/30 1、5通



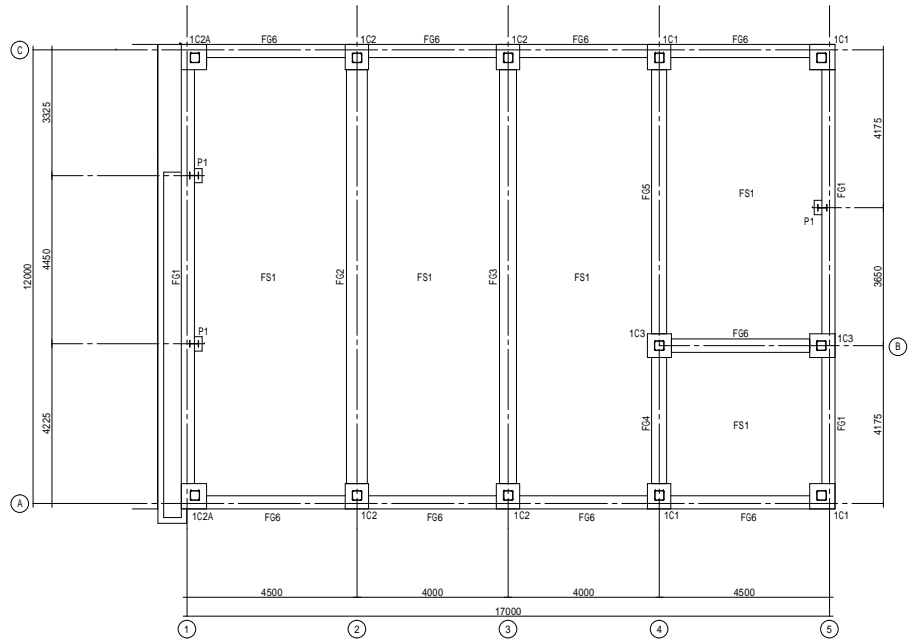
壁強配筋図 1/30



防水用ビット部配筋図 1/30



1通構持出しスラブ配筋図 1/30



基礎伏図 1/100

徳島県土木整備部管轄課

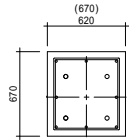
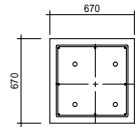
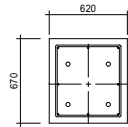
工事名 R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号 S-001

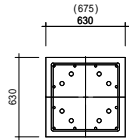
株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部

図面名 基礎伏図、基礎・雑配筋図

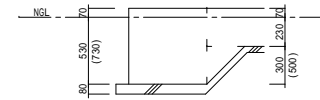
縮尺 1/100 1/30



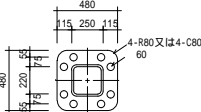
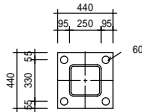
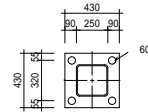
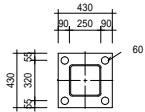
()内は5通



()内は5通



柱と土間スラブ取合い図

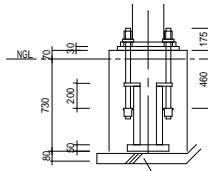


ベースプレート 430×430×36 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (S D390) L=720

ベースプレート 430×430×36 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (S D390) L=720

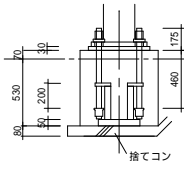
ベースプレート 440×440×40 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (S D490) L=725

ベースプレート 480×480×36 (SM490A)
アンカーボルト 8-D35 (S D390) L=720



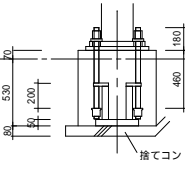
ジャストベース J250-09

1C2



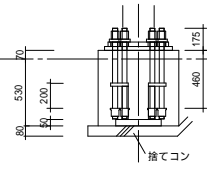
ジャストベース J250-09

1C2A



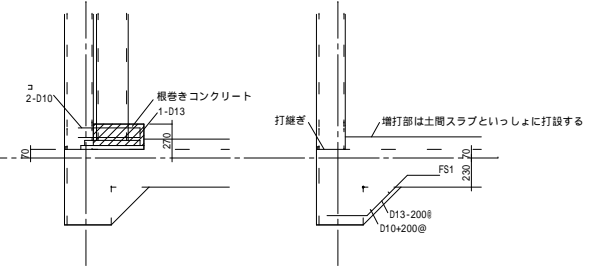
ジャストベース J250-12

1C1



ジャストベース J250-16

1C3



打継ぎ要領図、段差補強配筋図

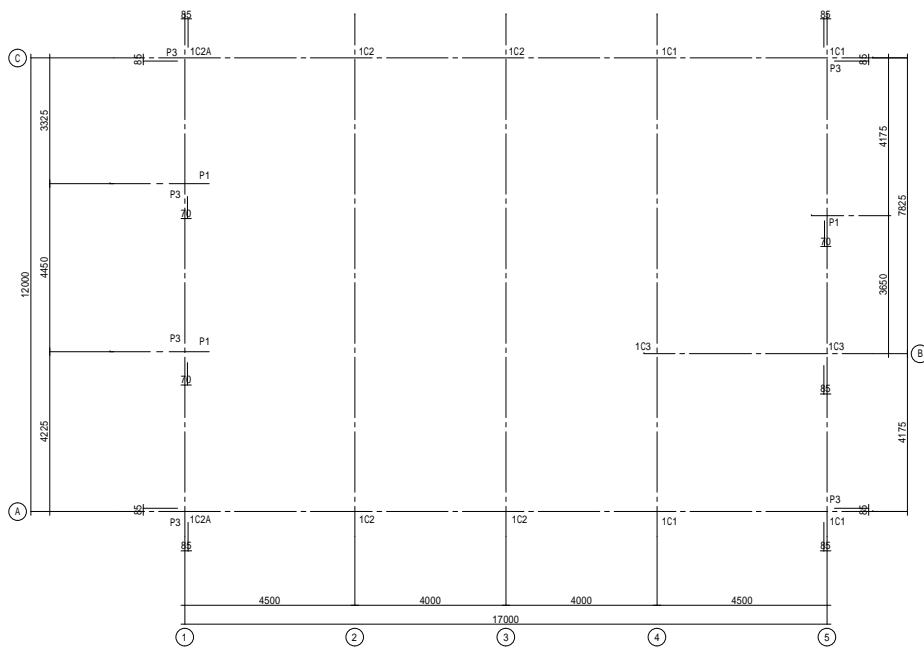
基礎柱リスト

記号	1C2(2,3通)	1C2A(1通)	1C1(4通)	1C1(5通)	1C3(4通)	1C3(5通)
寸法(B×D)	620×670	670×670	620×670	670×670	630×630	675×630
柱脚	ジャストベース J250-9	ジャストベース J250-9	ジャストベース J250-12	ジャストベース J250-12	ジャストベース J250-16	ジャストベース J250-16
主筋	8-D16	8-D16	8-D16	8-D16	12-D19	12-D19
フープ	D13-150@	D13-150@	D13-150@	D13-150@	D13-160@	D13-150@
備考						

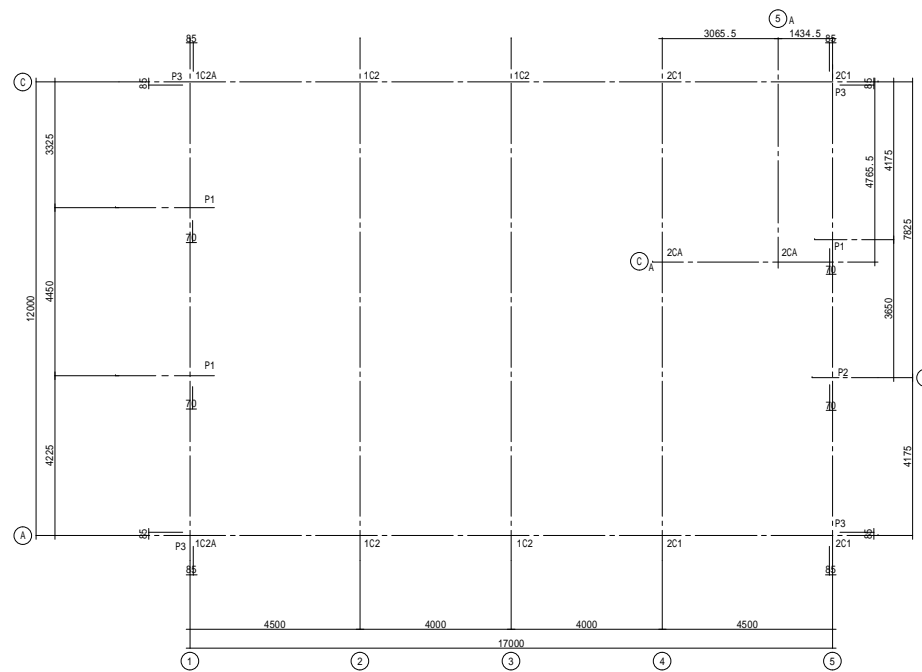
鉄骨部材リスト

1C1	柱	-250 × 250 × 12	BCR295	ジャストベースJ250-12	P1	間柱	H-244 × 175 × 7 × 11	SS400
1C2 1C2A	柱	-250 × 250 × 9	BCR295	ジャストベースJ250-9	P2	間柱	H-194 × 150 × 6 × 9	SS400
1C3	柱	-250 × 250 × 16	BCR295	ジャストベースJ250-16				
2C1	柱	-250 × 250 × 9	BCR295		P3	コーナー柱	-100 × 100 × 2.3	STKR400
2CA	柱	-150 × 150 × 6	STKR400					
G35	大梁	H-350 × 175 × 7 × 11	SS400					
G29	大梁	H-294 × 200 × 8 × 12	SS400					
G30	大梁	H-300 × 150 × 6.5 × 9	SS400	□A		-100 × 100 × 2.3(2連続スパン)	STKR400	
G19	大梁	H-194 × 150 × 6 × 9	SS400	□B		-100 × 100 × 2.3(1スパン)	STKR400	
G01 G02 G03 G04	持出し梁	H-294 × 200 × 8 × 12	SS400	□C		-100 × 100 × 3.2(1スパン)	STKR400	
CG	クレーンサドル受け梁	H-294 × 200 × 8 × 12	SS400					
WG1	大梁	H-200 × 100 × 5.5 × 8	SS400					
						2階床面 デッキプレート	合成スラブデッキプレート t=1.2, H=50 めっきZ-12 タテヨコ筋 φ10-200@	
B30	小梁	H-300 × 150 × 6.5 × 9	SS400			折居受け材	C-100 × 50 × 20 × 3.2	
B25	小梁	H-250 × 125 × 6 × 9	SS400			胴縁	ヨコ C-100 × 50 × 20 × 2.3 606#(特記なき場合)	
						小屋面ブレース	M16	
B20 WB	小梁	H-200 × 100 × 5.5 × 8	SS400					
T	ツナギ梁	I-150 × 75 × 6.5 × 10	SS400					

窓廻りタテはC-100 × 50 × 20 × 2.3とする。
 ヨコ胴縁は2連続スパンを原則とする。
 □A-Cは窓廻り上下及びシャッター上部、アルミ庇受け材



1階柱状図



2階柱状図

徳島県土整備部管轄課

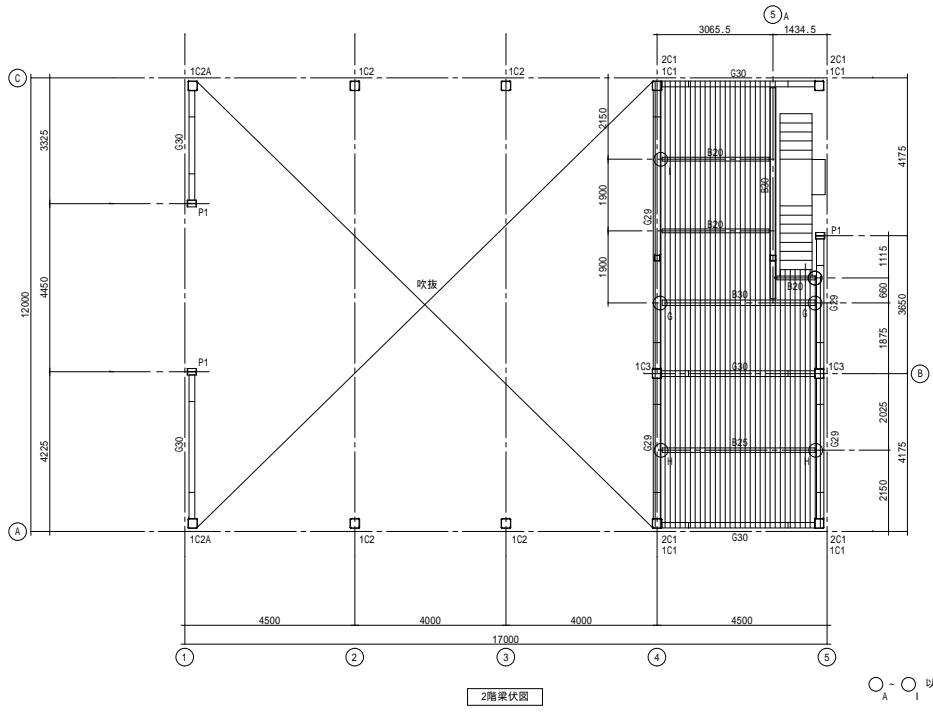
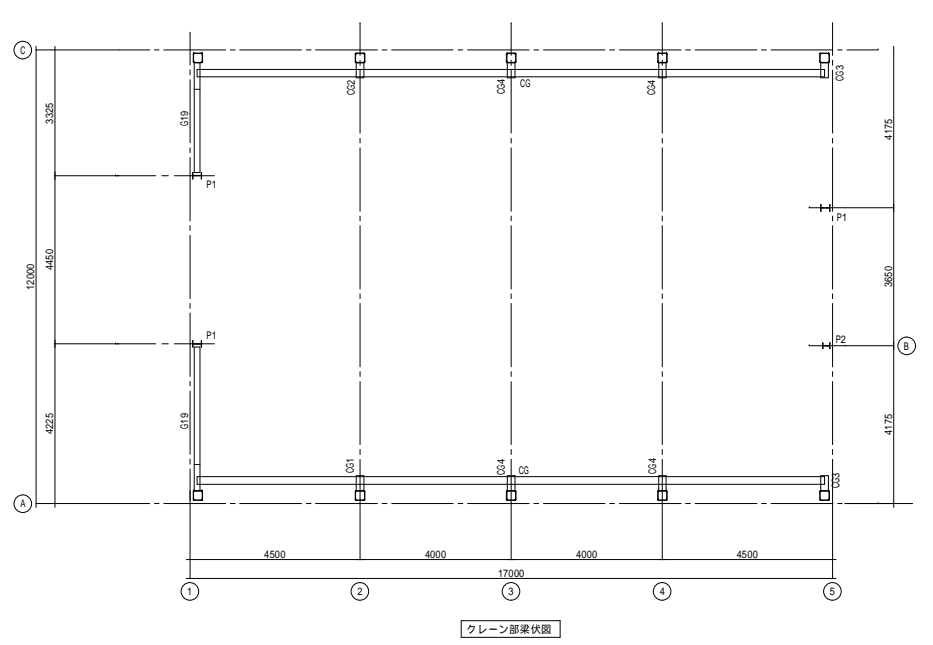
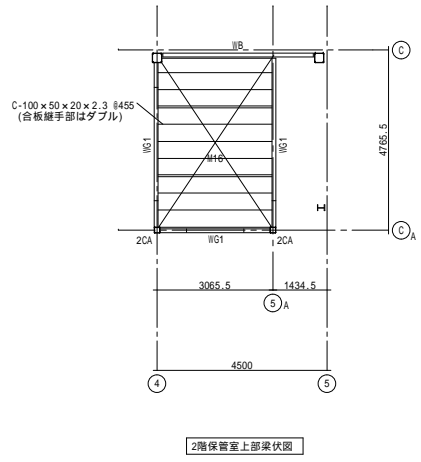
工事名 R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号 S-003

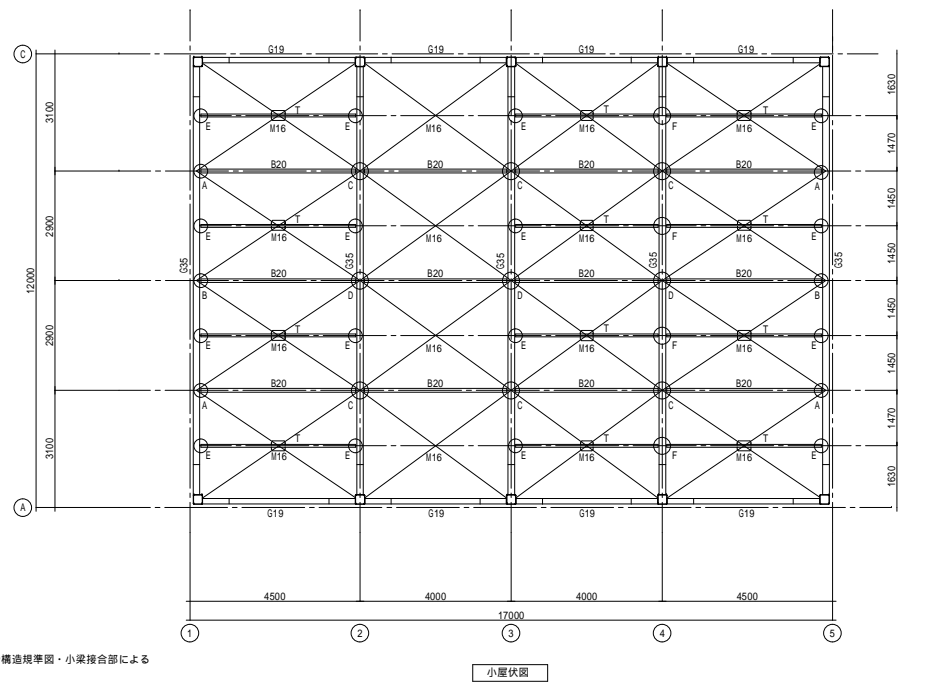
株式会社 川建設計 1級建築士登録
 第126265号
 川建設一館

図面名 1・2階柱状図、鉄骨部材リスト

縮尺 1/100



○ - ○
A - 1
以外は鉄骨構造規準図・小梁接合部による

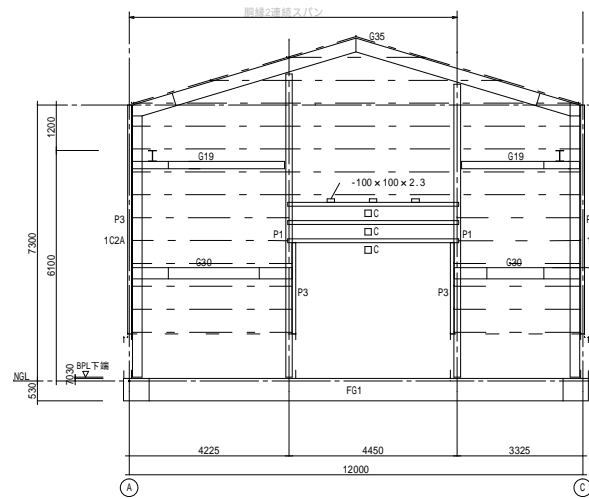


徳島県土整備部管轄課

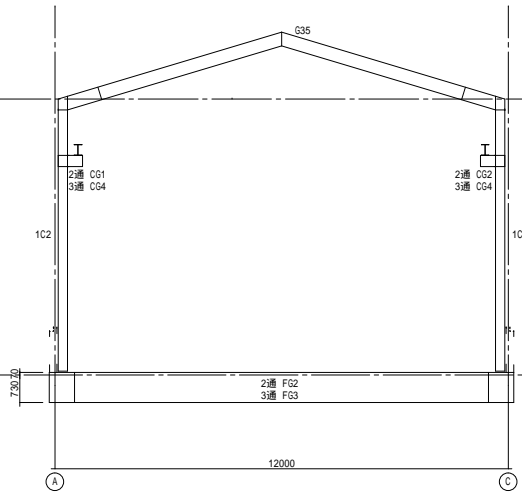
工事名 R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 2階梁伏図、小屋伏図、その他梁伏図

図面番号 S-004
縮尺 1/100

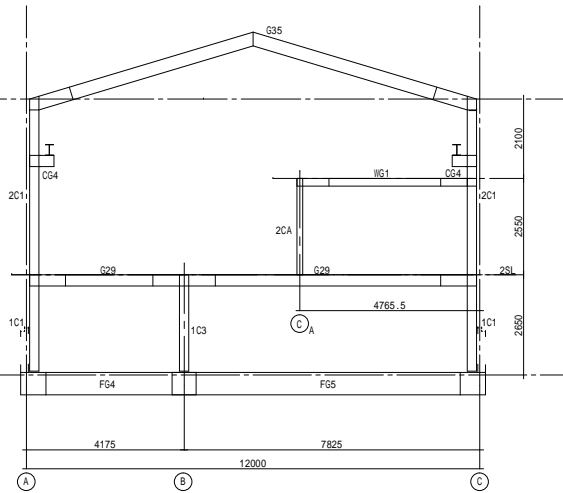
1級建築士登録
株式会社 川建設
第126265号
川建社一部



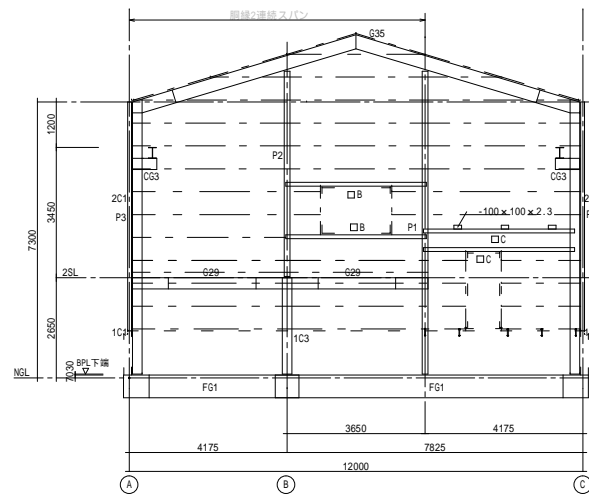
1通軸組図



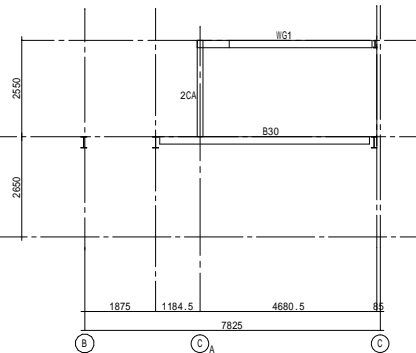
2,3通軸組図



4通軸組図



5通軸組図



5A通軸組図

■ アンカーボルト M-12 L=180
(P柱AB標準図による)

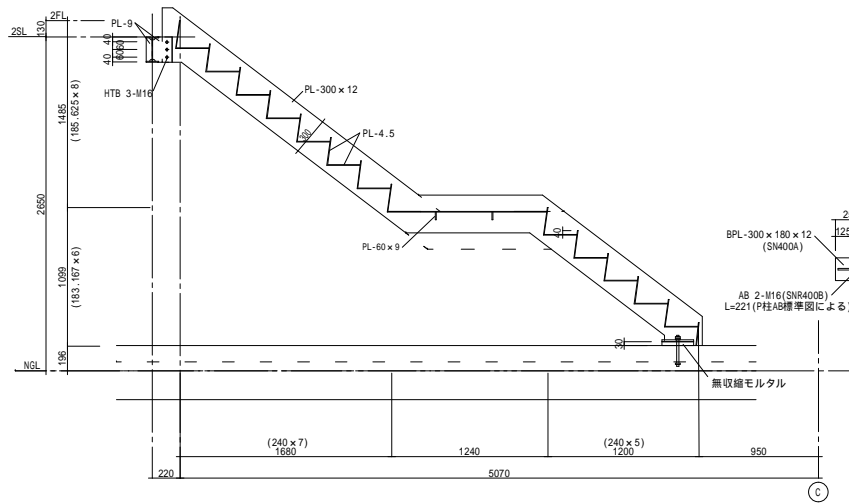
徳島県県土整備部営繕課

工事名 R 1 営繕 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事
図面名

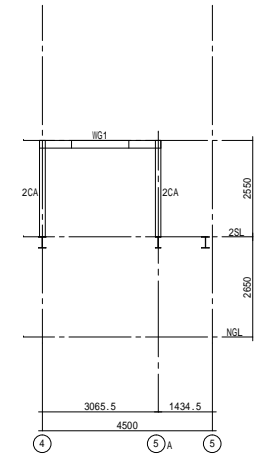
図面番号 S-005
縮尺 1/100

株式会社 川建設

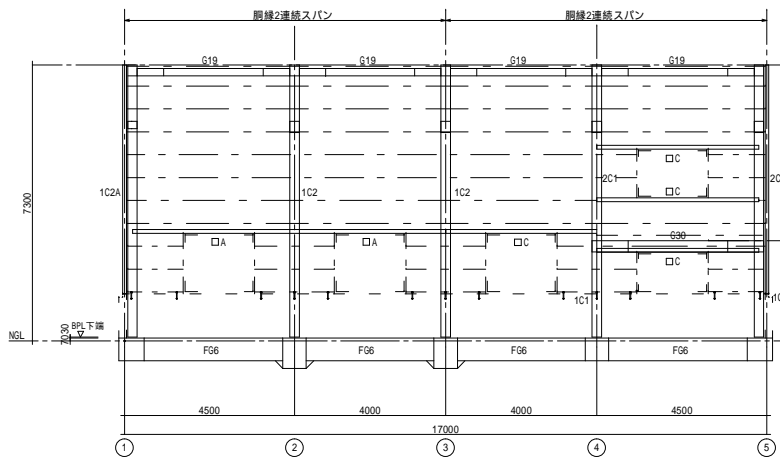
1級建築士登録
第126265号
川藤社 川藤社 川藤社



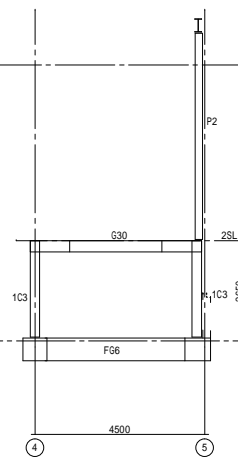
階段架構図 1/30



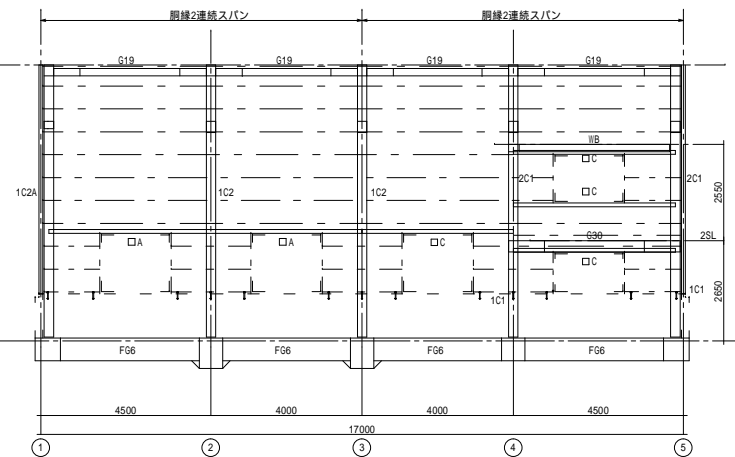
CA通軸組図 1/100



A通軸組図 1/100



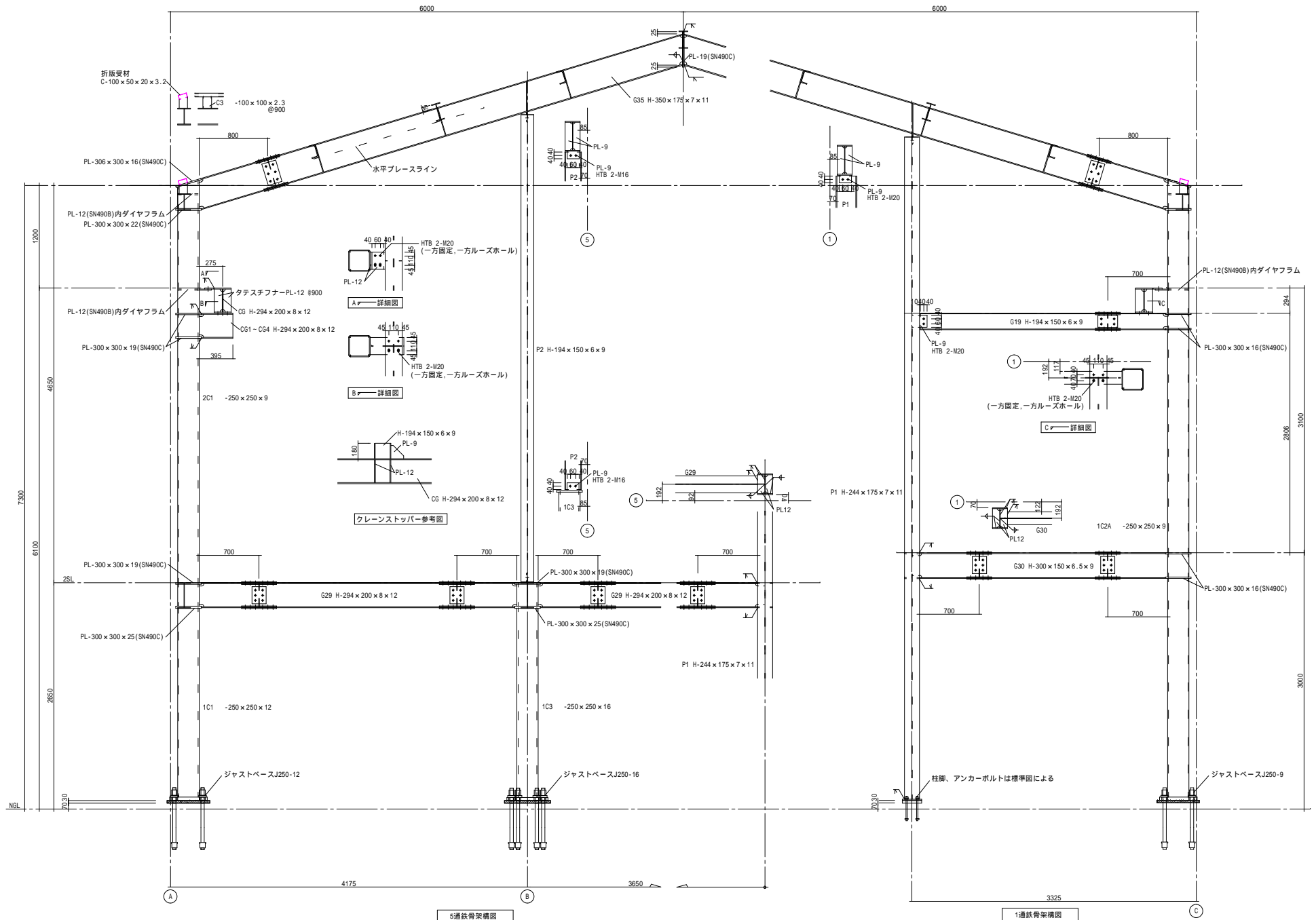
B通軸組図 1/100



C通軸組図 1/100

■ アンカーボルト M-12 L=180 (P柱AB標準図による)

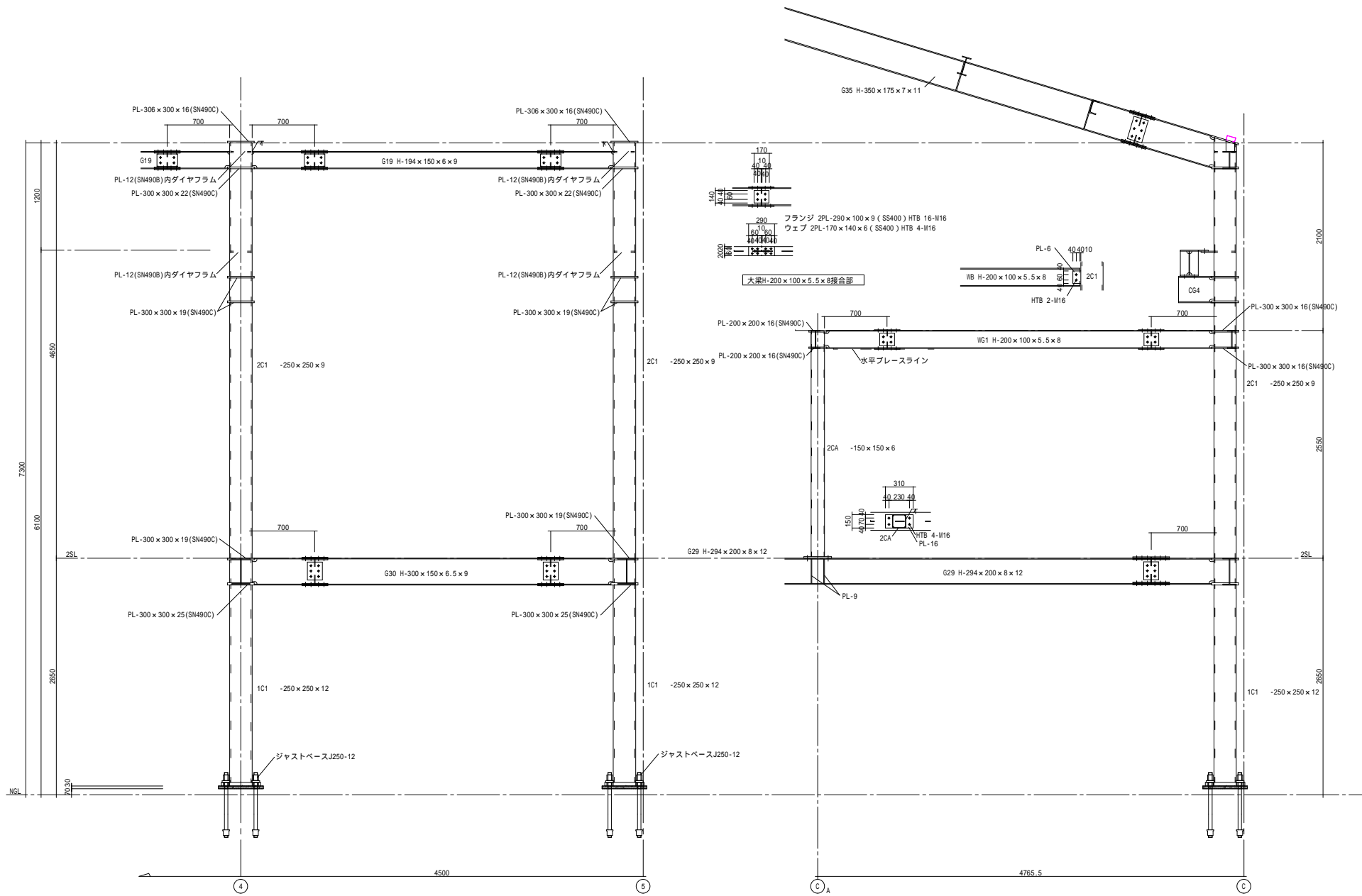
徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	R 1 宮崎 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	S-006	
	図面名	縮尺	
	軸組図 2、階段架構図	1/100 1/30	



5通鉄骨架構図

1通鉄骨架構図

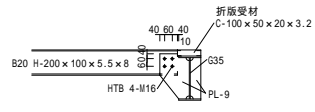
徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建設一歩
	R 1 倉庫 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	S-007	
	図面名	縮尺	
	鉄骨架構図 1	1/30	



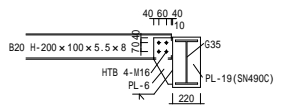
A通鉄骨架構図

4通鉄骨架構図

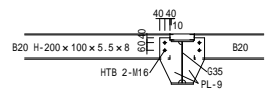
徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	R 1 宮橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	S-008	
	図面名	縮尺	
	鉄骨架構図 2	1/30	



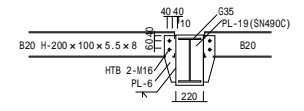
○ A部 小梁接合図



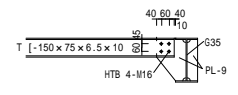
○ B部 小梁接合図



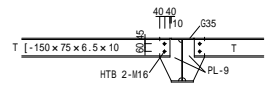
○ C部 小梁接合図



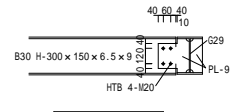
○ D部 小梁接合図



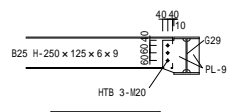
○ E部 小梁接合図



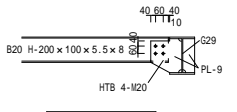
○ F部 小梁接合図



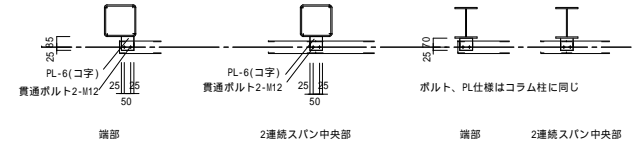
○ G部 小梁接合図



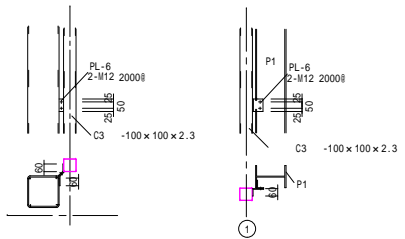
○ H部 小梁接合図



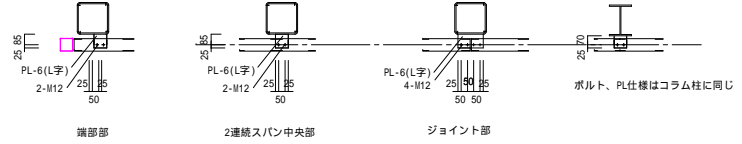
○ I部 小梁接合図



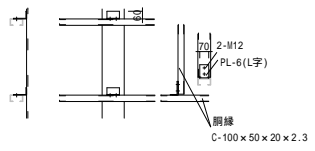
□ A-C



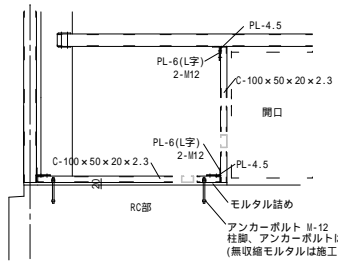
□ コーナー部C3



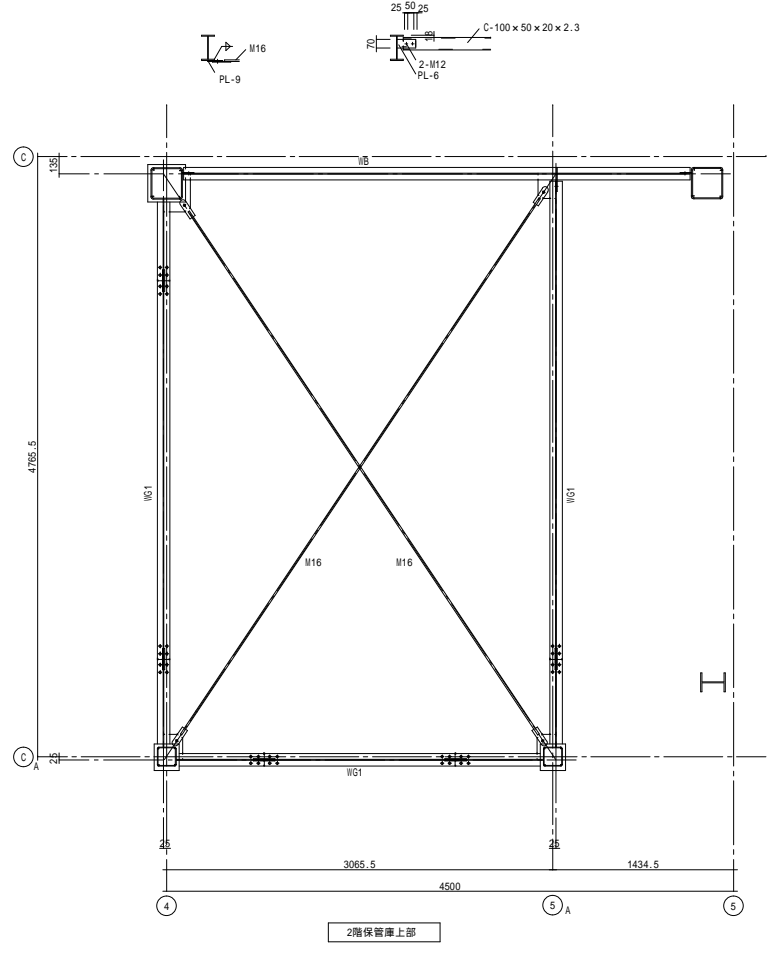
□ A-C



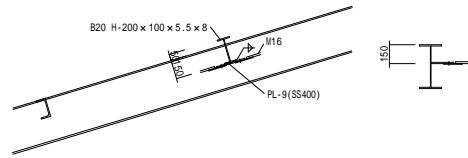
□ 鋼縁



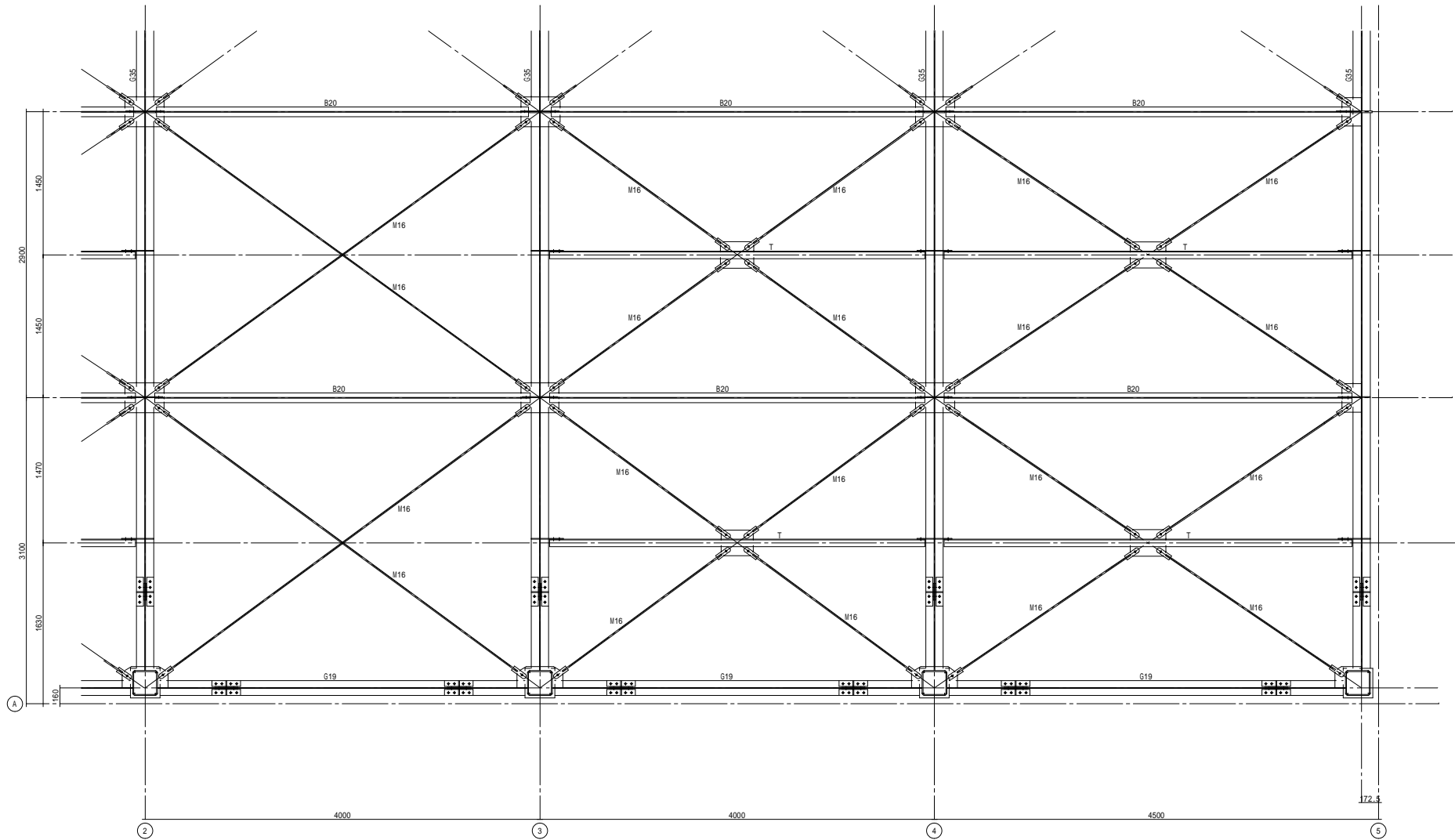
□ A, C連のRC部鋼縁納まり



□ 2階保管庫上部



R階小屋面プレート詳細図
ボルト、GPLの仕様は標準図7-7による



徳島県土整備部管轄課	工事名	図面番号	1級建築士登録 株式会社 川建設 第126265号 川藤社一 部
	R 1 宮橋 吉野川北岸工業用水道 松・長岸 防災備蓄倉庫新築工事	S-010	
	図面名	縮尺	
	鉄骨梁構図 4	1/30	

QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 JFE 建材株式会社

QLデッキ合成スラブリ設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、「鉄骨工事技術指針」、「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及 JASS6鉄骨工事(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工標準-2004」、合成スラブ工業会「合成スラブリ設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料 / デッキプレート		ISO 9001 認証取得	
デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理	
QLデッキ	鋼板加工	裏面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P)	
QL99-50	中肉付	垂れ止めつき [Z12 Z27]	
QL99-75	無し	ZAM(高耐食溶めつき鋼板) [K27 K35]	
QLセラー	GK-X-50	垂れ止めつき Z 27 限定	
	GK-X-75	1.2	
材質	JIS S 355 2 に定める SDP1T, SDP2, SDP2G		

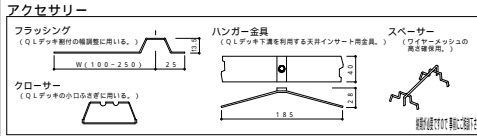
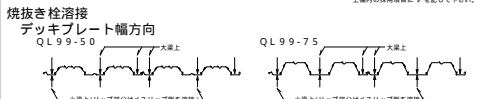
材料 / コンクリート		ISO 9001 認証取得	
種類	普通コンクリート	軽量コンクリート(1種 2種)	
設計基準強度	18	18	
厚さ(QLデッキ上)	60 70 80 85 90 95 100	mm	

材料 / 溶接金網・異形鉄筋		ISO 9001 認証取得	
溶接金網	JIS G 3551	6-150x150 6-100x100	
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	D10-@200	

接合		ISO 9001 認証取得	
溶接金網	下記溶接金網の項による		
打込み鉄	別添打込み鉄の仕様による		
溶接金網	JIS B 1198	13	16 19 22
その他	()		

耐火		ISO 9001 認証取得	
耐火時間	1 時間	2 時間	
連続支持	FP060FL-9095	FP120FL-9107	
単接支持	FP060FL-9101	FP120FL-9113	
その他	()	()	
指定なし	()	()	

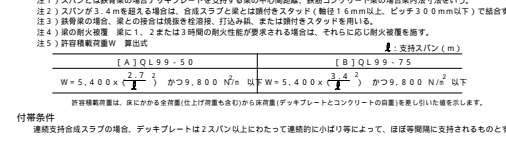
特記		ISO 9001 認証取得	
支保工有無	有	無	



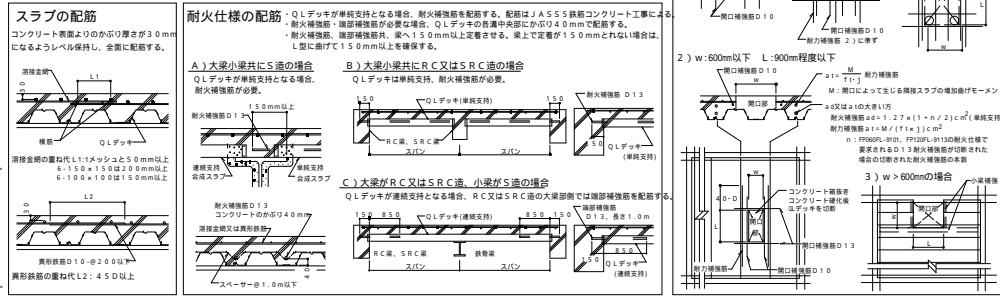
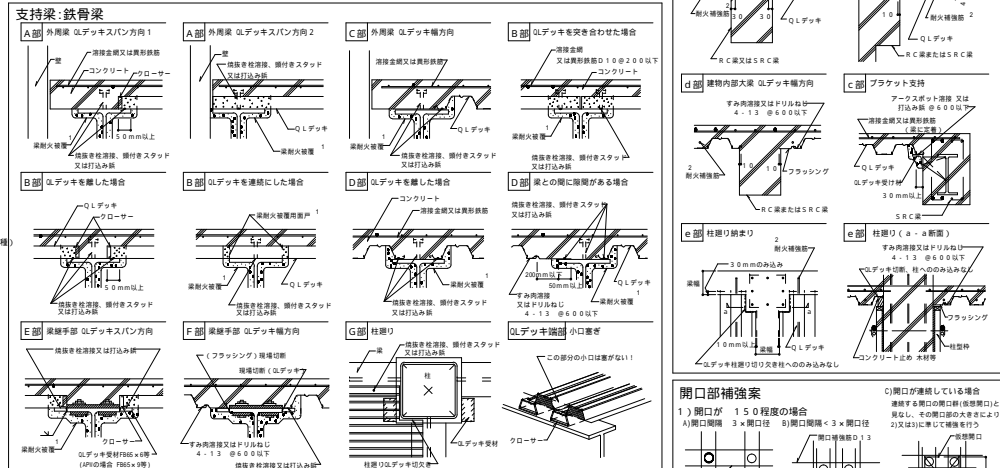
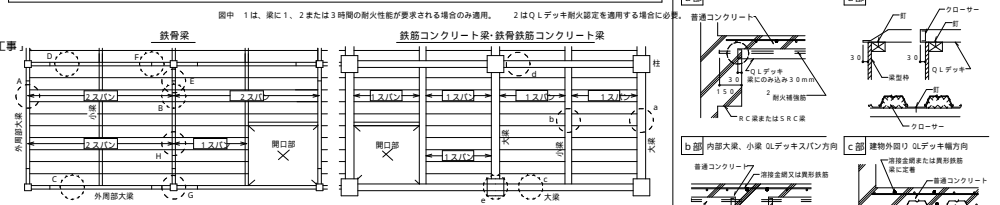
施工順序		敷込み		QLデッキと梁との接合	
差出し	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
敷込み止め	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
QLデッキとの接合	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
溶接金網の敷込み	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
コンクリート打設	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
検査	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網

耐火仕様		【連続支持合成スラブ】	
耐火時間	1 時間	2 時間	
連続支持	FP060FL-9095	FP120FL-9107	
単接支持	FP060FL-9101	FP120FL-9113	

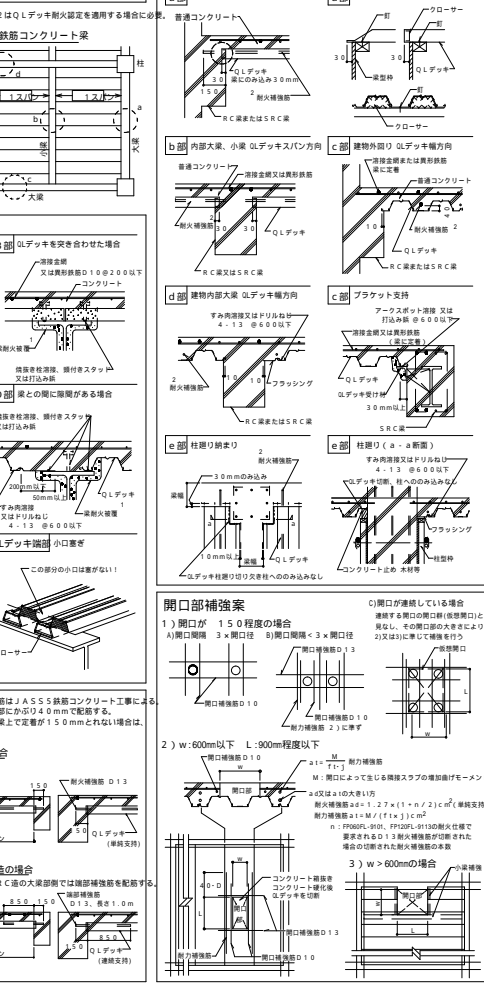
耐火仕様		【単純支持合成スラブ】	
耐火時間	1 時間	2 時間	
連続支持	FP060FL-9095	FP120FL-9107	
単接支持	FP060FL-9101	FP120FL-9113	



標準納まり



支保梁: 鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート梁



施工順序		敷込み		QLデッキと梁との接合	
差出し	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
敷込み止め	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
QLデッキとの接合	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
溶接金網の敷込み	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
コンクリート打設	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
検査	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網

施工順序		敷込み		QLデッキと梁との接合	
差出し	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
敷込み止め	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
QLデッキとの接合	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
溶接金網の敷込み	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
コンクリート打設	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網
検査	鉄骨梁の場合	1) 溶接金網	2) 打込み鉄	3) 焼抜き溶接	4) 溶接金網

検査		検査	
検査項目	検査方法	検査項目	検査方法
溶接金網の敷込み	目視検査	溶接金網の敷込み	目視検査
打込み鉄の敷込み	目視検査	打込み鉄の敷込み	目視検査
焼抜き溶接の敷込み	目視検査	焼抜き溶接の敷込み	目視検査
溶接金網の敷込み	目視検査	溶接金網の敷込み	目視検査
打込み鉄の敷込み	目視検査	打込み鉄の敷込み	目視検査
焼抜き溶接の敷込み	目視検査	焼抜き溶接の敷込み	目視検査

検査		検査	
検査項目	検査方法	検査項目	検査方法
溶接金網の敷込み	目視検査	溶接金網の敷込み	目視検査
打込み鉄の敷込み	目視検査	打込み鉄の敷込み	目視検査
焼抜き溶接の敷込み	目視検査	焼抜き溶接の敷込み	目視検査
溶接金網の敷込み	目視検査	溶接金網の敷込み	目視検査
打込み鉄の敷込み	目視検査	打込み鉄の敷込み	目視検査
焼抜き溶接の敷込み	目視検査	焼抜き溶接の敷込み	目視検査